



株式会社夢真ホールディングス
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.

※2019年2月8日に開示した
決算補足資料から修正された
箇所へは下線を付しております。

2019年9月期 決算説明資料

～第1四半期～

2019年2月19日版

2019年9月期/
September. 2019
証券コード/
Securities code
2362

CONTENTS

連結決算概要 … P4

セグメント別概要 …P16

株主還元 …P46

事業ポートフォリオ

[FY19/Q1]

報告セグメント	会社名
建設技術者派遣	夢真ホールディングス
エンジニア派遣	夢テクノロジー クムンテープ ネプラス Centurion P3OPLE4U
その他	夢エージェント YUMEGLOBAL JAPAN YUMEGLOBAL PHILIPPINES YUMEGLOBAL VIETNAM 建設資格推進センター

連結決算概要

連結決算概要

連結P/Lの状況

連結P/L (1) 四半期毎の状況

- 売上高は技術者数の積み上げにより34四半期連続増収
- 積極採用により増益率は限定的だが入社人数は計画どおり推移

売上高

+25.6%

営業利益

+0.7%

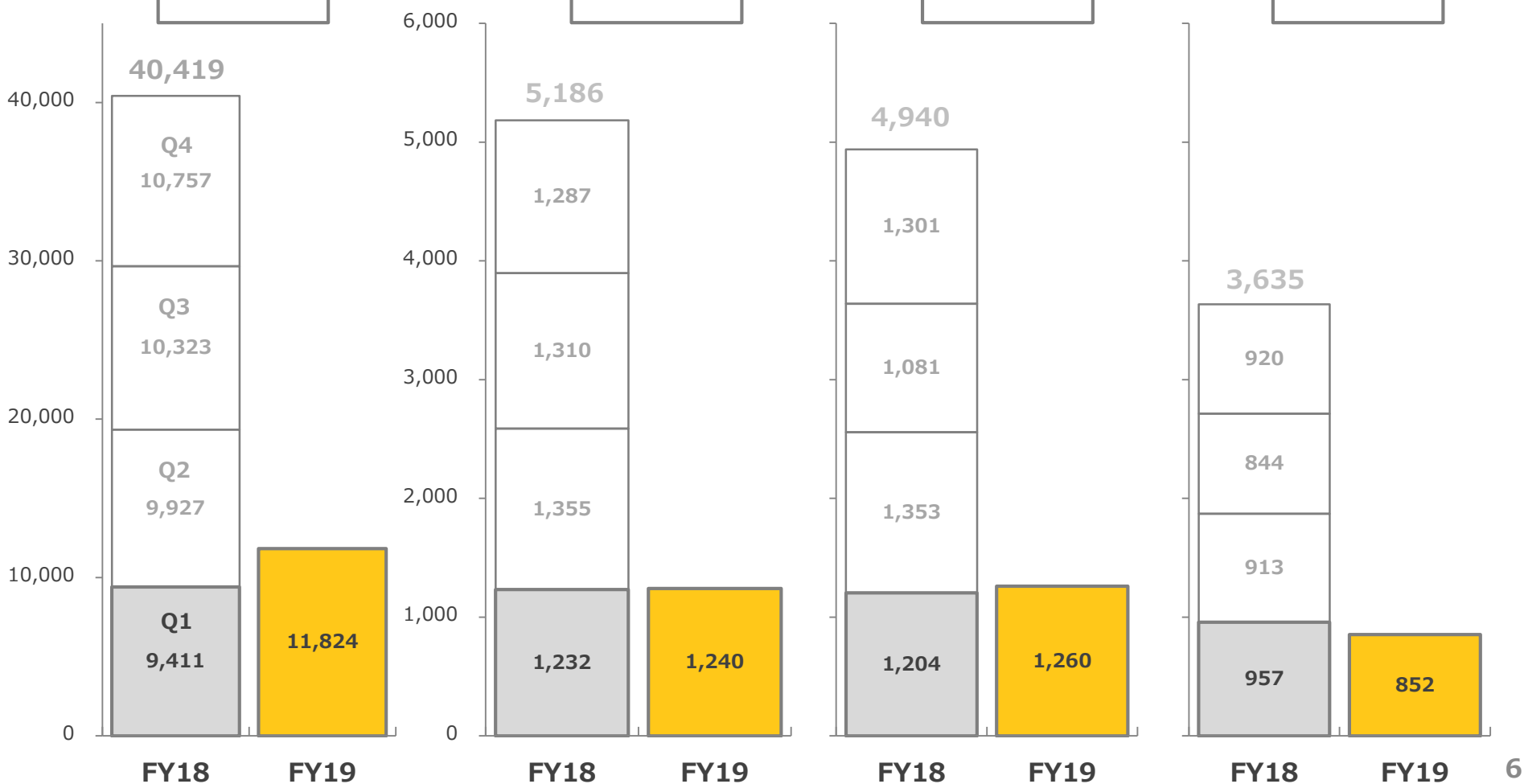
経常利益

+4.6%

親会社株主に帰属する 四半期純利益

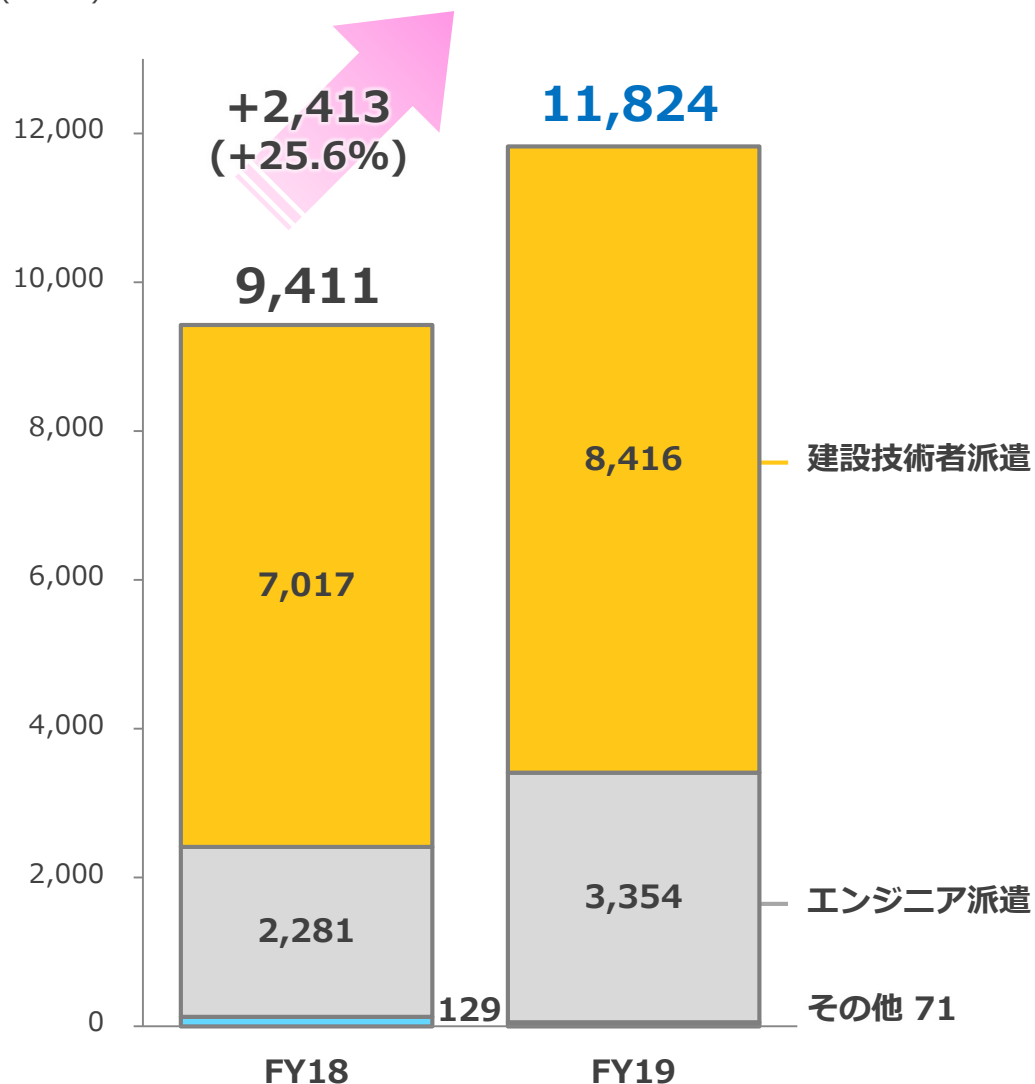
▲11.0%

(百万円)



連結P/L (2) 売上高

(百万円)



- 建設技術者、エンジニアともに稼働人数増で26%増収

[主な増減要因]

建設技術者派遣 +1,398百万 (+19.9%)

- 稼働人数の増加、派遣単価の上昇による増収

エンジニア派遣 +1,073百万 (+47.1%)

- 稼働人数の増加、派遣単価の上昇による増収

その他 ▲57百万 (▲44.8%)

- 不採算事業の撤退・縮小による減収

連結P/L (3) 販売費及び一般管理費

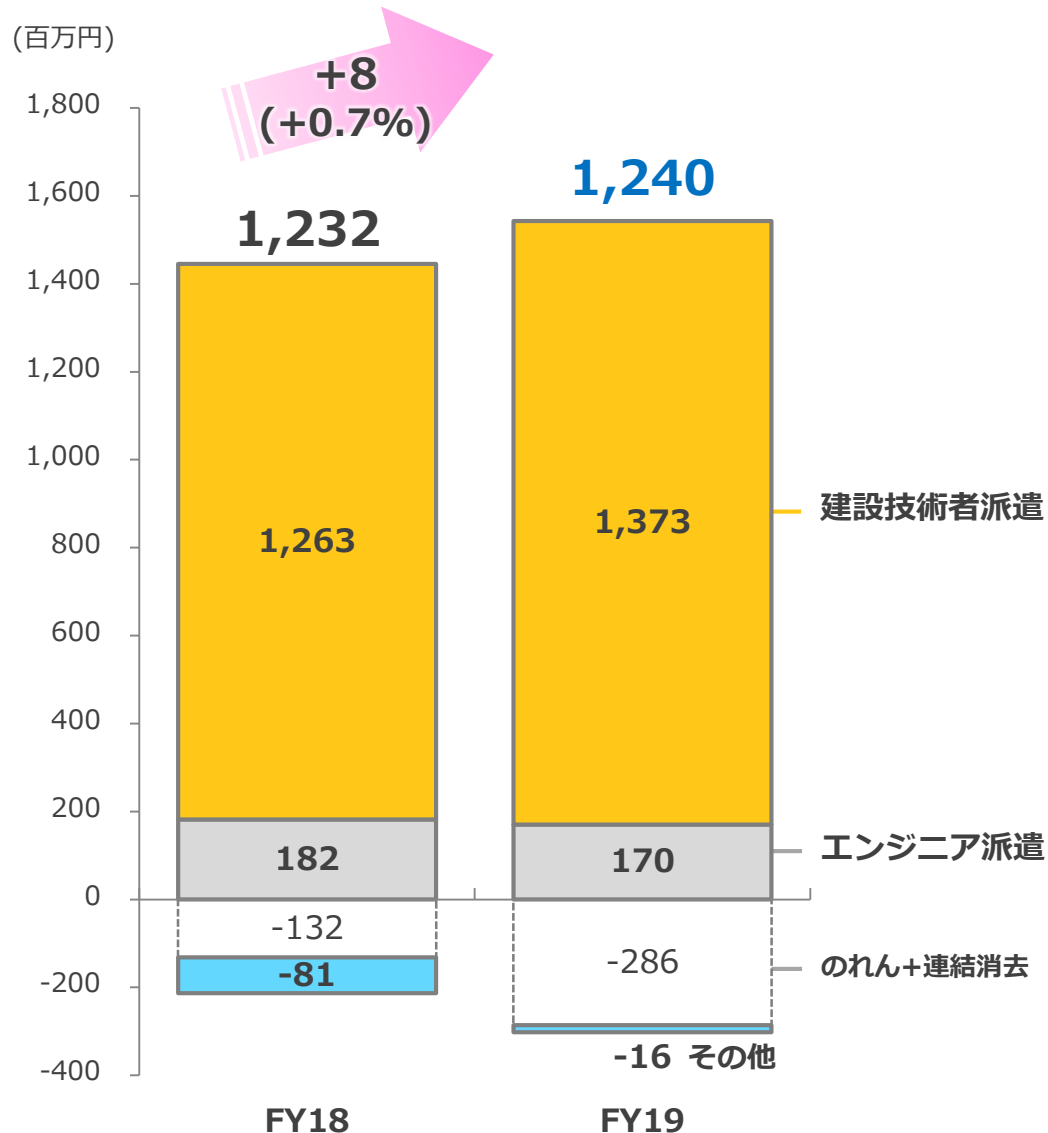
- 積極的な採用計画のとおり連結採用コスト77%増加 → 採用人数も計画どおり推移
- 直近行ったM&A費用計上により業務委託費が一時的に増加 → Q2以降は平常化

(百万円)

	FY18/Q1	FY19/Q1	増減額	摘要
売上原価	6,531	8,306	+1,775	技術者の増員による増加
売上原価率	69.4%	70.2%	+0.8pt	
売上総利益	2,879	3,517	+638	
売上総利益率	30.6%	29.8%	▲0.8	
販売費及び一般管理費	1,647	2,277	+629	
役員報酬	37	40	+2	
人件費	793	928	+135	営業員および人材管理部門の増員による増加
広告宣伝費	16	12	▲3	
採用費	363	642	+278	積極採用による増加
地代家賃	123	135	+12	
業務委託費	69	226	+156	直近のM&A関連費用による増加
のれん償却額	48	39	▲9	
販管費率	17.5%	19.3%	+1.8pt	

※ 人件費 = 給与及び手当+旅費及び交通費+賞与+法定福利費+福利厚生費+退職給付費用 (役員含まず)

連結P/L (4) 営業利益



- 積極採用により増益率は限定的だが入社人数は計画どおり推移

[主な増減要因]

建設技術者派遣	+109百万 (+8.7%)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 派遣単価の上昇による増益 	
エンジニア派遣	▲12百万 (▲6.8%)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 稼働率・派遣単価の上昇およびローコストオペレーションによる増益 	
その他	+64百万 (+79.6%)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 不採算事業の撤退・縮小 ■ 建設・製造業界への人材紹介が堅調 	

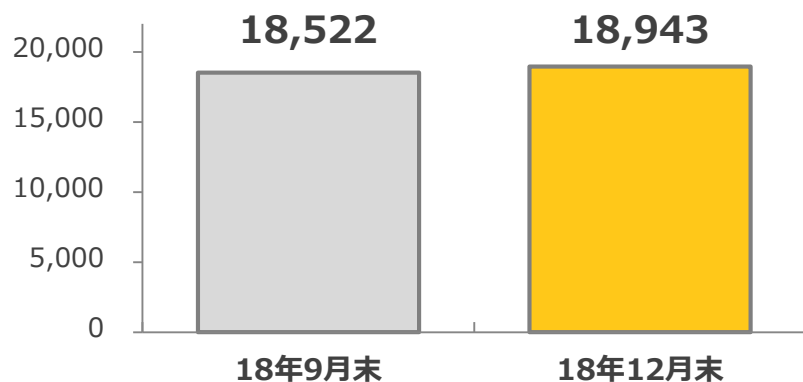
※ 増減要因には上記の他に「のれん+連結消去 ▲154百万円」が含まれます。

連結B/Sの状況

連結B/Sの状況

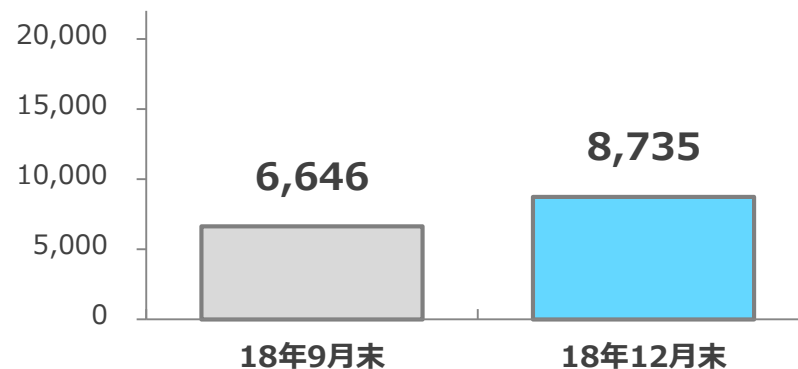
流動資産

(百万円)



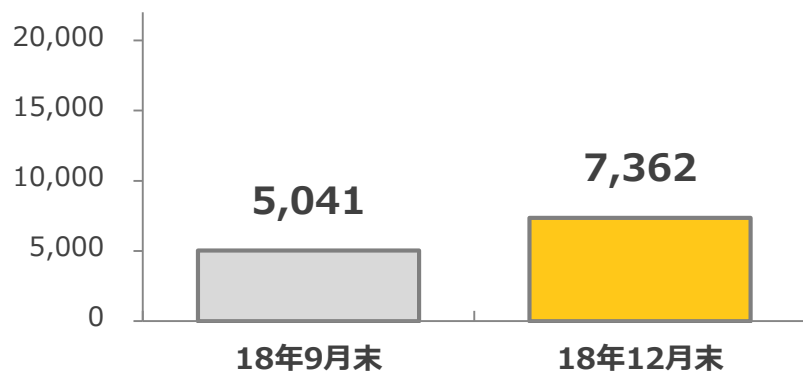
流動負債

(百万円)



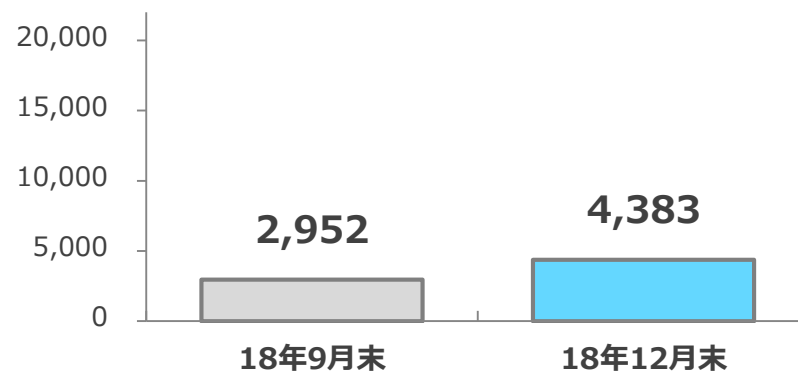
固定資産

(百万円)



固定負債

(百万円)



連結B/S (1) 資産の部

(百万円)

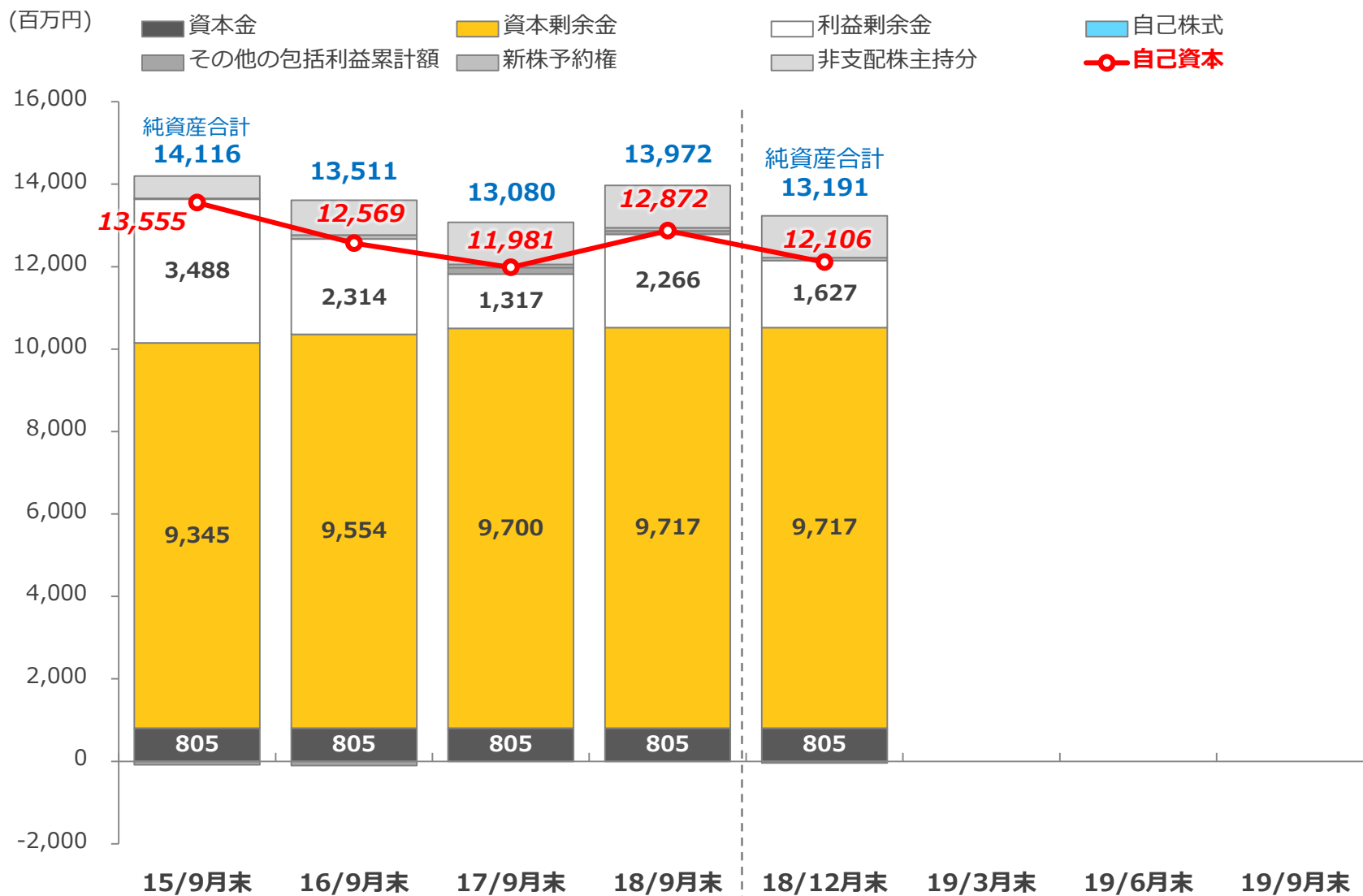
	2018年9月末	2018年12月末	増減額	摘要
資産の部	23,571	26,310	+2,739	
流動資産	18,522	18,943	+421	
現金及び預金	11,300	10,197	▲1,104	
受取手形及び売掛金	5,973	6,271	+298	派遣先増加のため
電子記録債権	9	6	▲3	
たな卸し資産	887	35	+34	
貸倒引当金	▲17	▲69	▲52	
固定資産	5,041	7,362	+2,685	
有形固定資産	938	1,300	+362	
建物及び構築物	435	404	▲30	
工具、器具及び備品	91	106	+15	
土地	395	395	±0	
無形固定資産	744	2,698	+1,954	
のれん	610	2,497	+1,887	連結子会社増加のため
ソフトウェア	120	131	+11	
投資その他の資産	3,358	3,363	+5	
投資有価証券	1,647	1,567	+22	
関係会社株式	404	506	+101	
貸倒引当金	▲38	▲41	▲2	

連結B/S (2) 負債・純資産の部

(百万円)

	2018年9月末	2018年12月末	増減額	摘要
負債+純資産	23,571	26,310	+2,739	
負債の部	9,598	13,118	+3,520	
流動負債	6,646	8,735	+2,089	
支払手形及び買掛金	9	88	+79	
短期借入金	100	2,560	+2,460	運転資金、自己株式取得資金の借入による増加
1年内返済予定の長期借入金	1,208	1,460	+252	
未払法人税等	1,082	243	▲838	
未払費用	2,025	2,156	+130	
賞与引当金	634	260	▲374	
株主優待引当金	74	—	▲74	
固定負債	2,952	4,383	+1,431	
新株予約権付社債	—	50	+50	
長期借入金	2,538	3,914	+1,376	運転資金の借入による増加
退職給付に係る負債	306	312	+5	
資産除去債務	66	66	±0	
純資産の部	13,972	13,191	▲781	
株主資本	12,789	12,150	▲639	
資本金	805	805	±0	
資本剰余金	9,717	9,717	±0	
利益剰余金	2,266	1,627	▲639	FY19/Q1純利益 - FY18期末配当
その他の包括利益累計額	82	▲43	▲125	
その他有価証券評価差額金	89	▲35	▲124	

連結B/S (3) 自己資本推移



※ 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分 - 新株予約権

FY2019

セグメント別概要

建設技術者派遣事業

技術者数

×

稼働率

×

稼働時間

×

派遣単価



売上高

技術者数（1）採用実績



建設技術者派遣

- 年間採用目標 2,800人に対し、進捗率 27.6%と堅調

(単位：人)

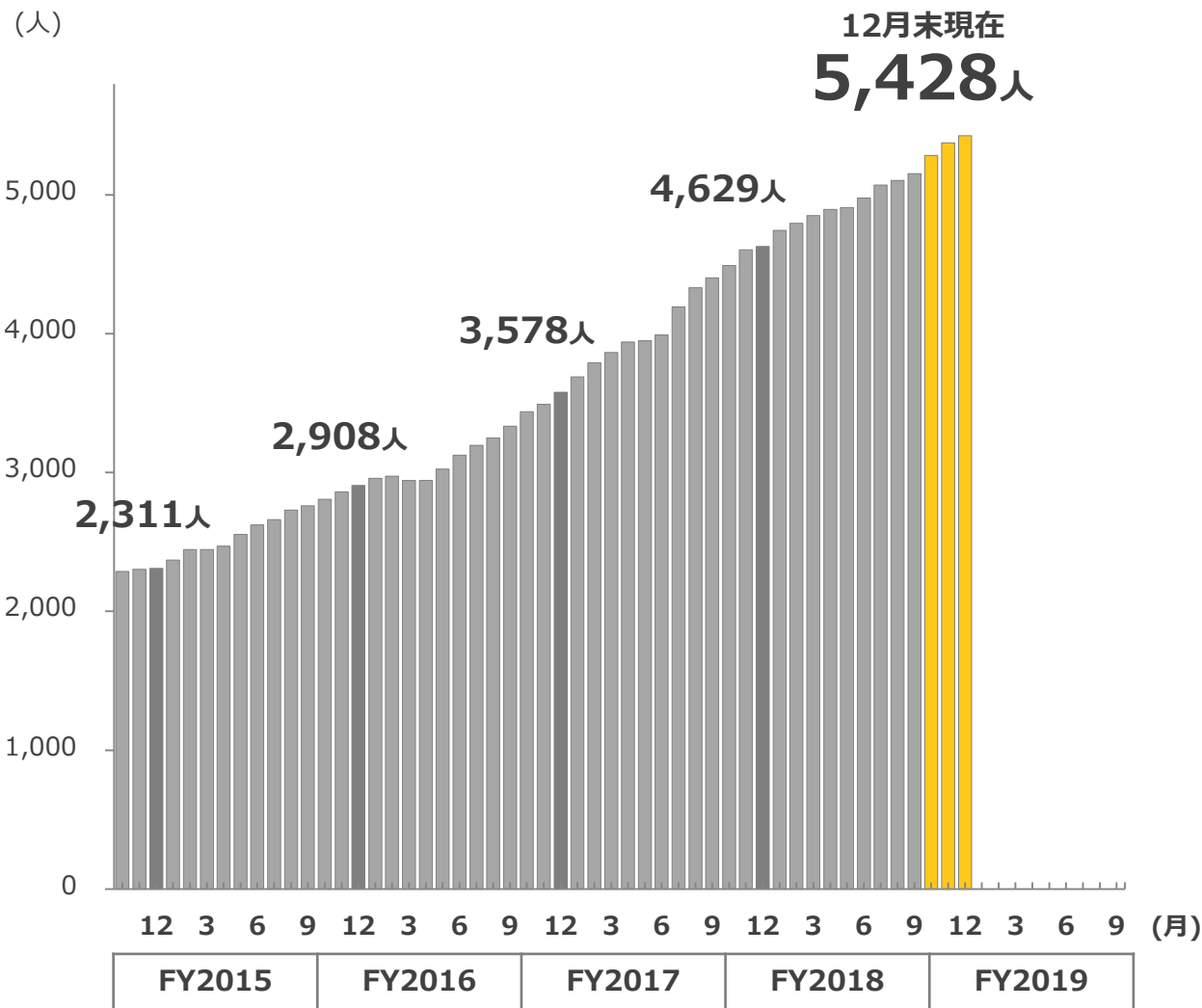
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY18 採用実績	698			673			1,371
FY19 採用実績	774						
増減	+76						

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY18 採用実績	716			677			1,393	2,764
FY19 採用実績								
増減								

技術者数（2） 在籍人数の推移



- 期末技術者数目標 5,900人に対し順調に積み上げ → 前年9月末から275人増員
- 前年同月末比 799人増加



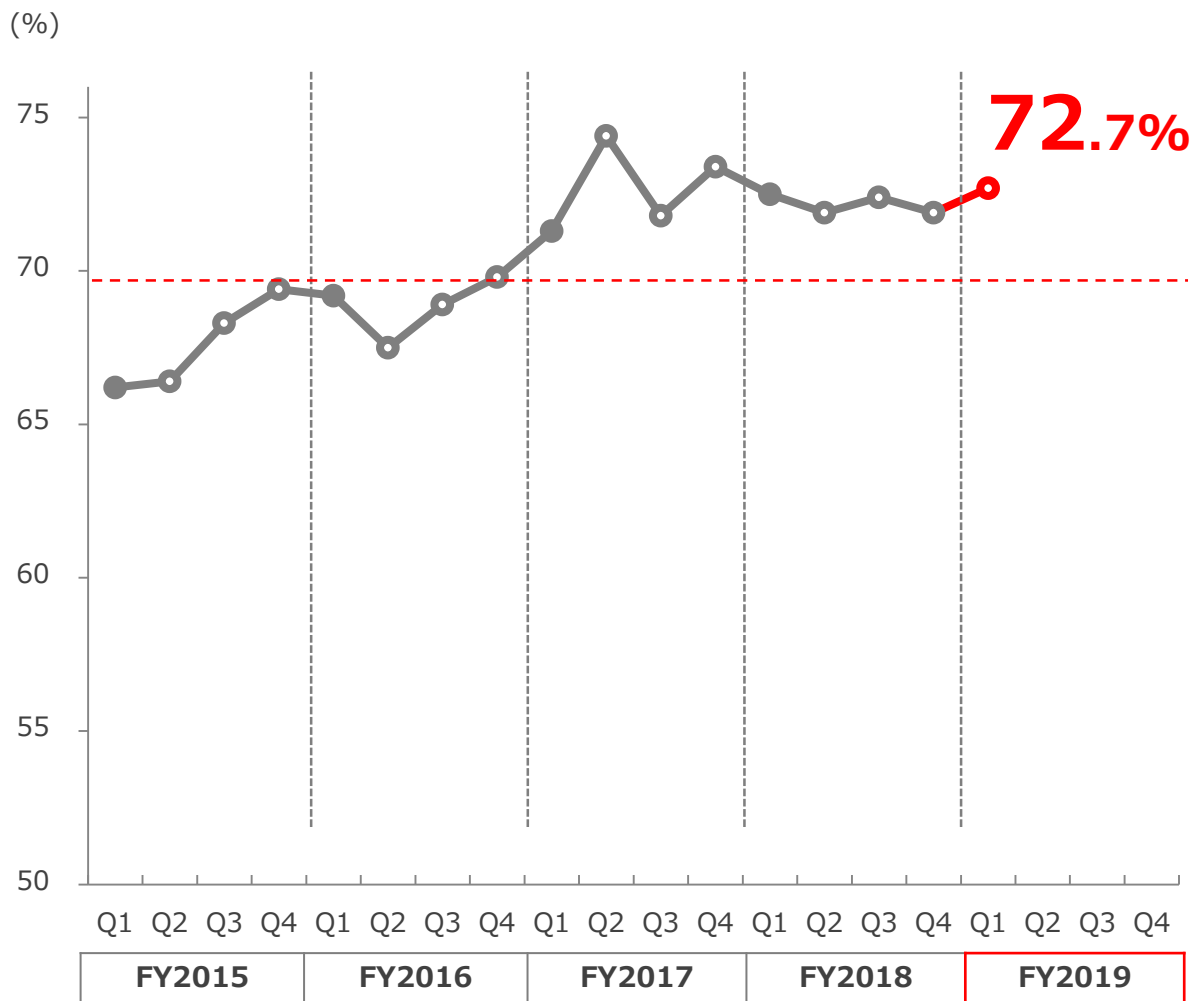
平均技術者数 3ヶ月平均 (10~12月)		
		YoY
FY15/Q1	2,240	
FY16/Q1	2,790	+24.5%
FY17/Q1	3,503	+25.5%
FY18/Q1	4,575	+30.6%
FY19/Q1	<u>5,363</u>	<u>+17.2%</u>

※ 各月末技術者数

技術者数 (3) 定着率の推移



■ 継続的な改善施策で70%以上維持



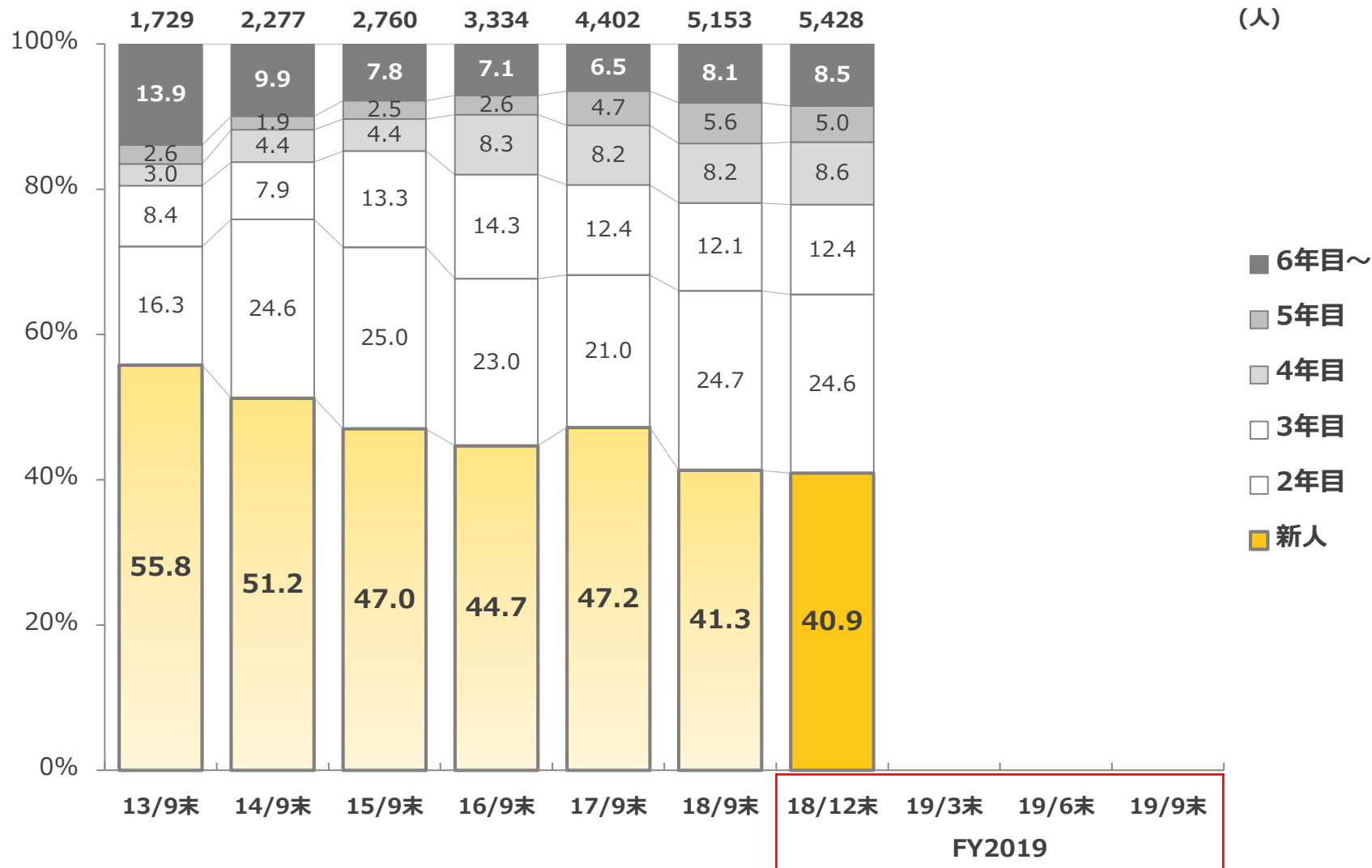
平均定着率 3ヶ月平均 (10~12月)		
FY15/Q1	66.2%	YoY
FY16/Q1	69.2%	+3.0pt
FY17/Q1	71.3%	+2.1pt
FY18/Q1	72.5%	+1.2pt
FY19/Q1	<u>72.7%</u>	<u>+0.2pt</u>

※ 定着率 = 集計時点在籍人数 ÷ (一年前在籍人数 + 一年間入社人数) × 100

技術者数（４） 在籍年数別の割合



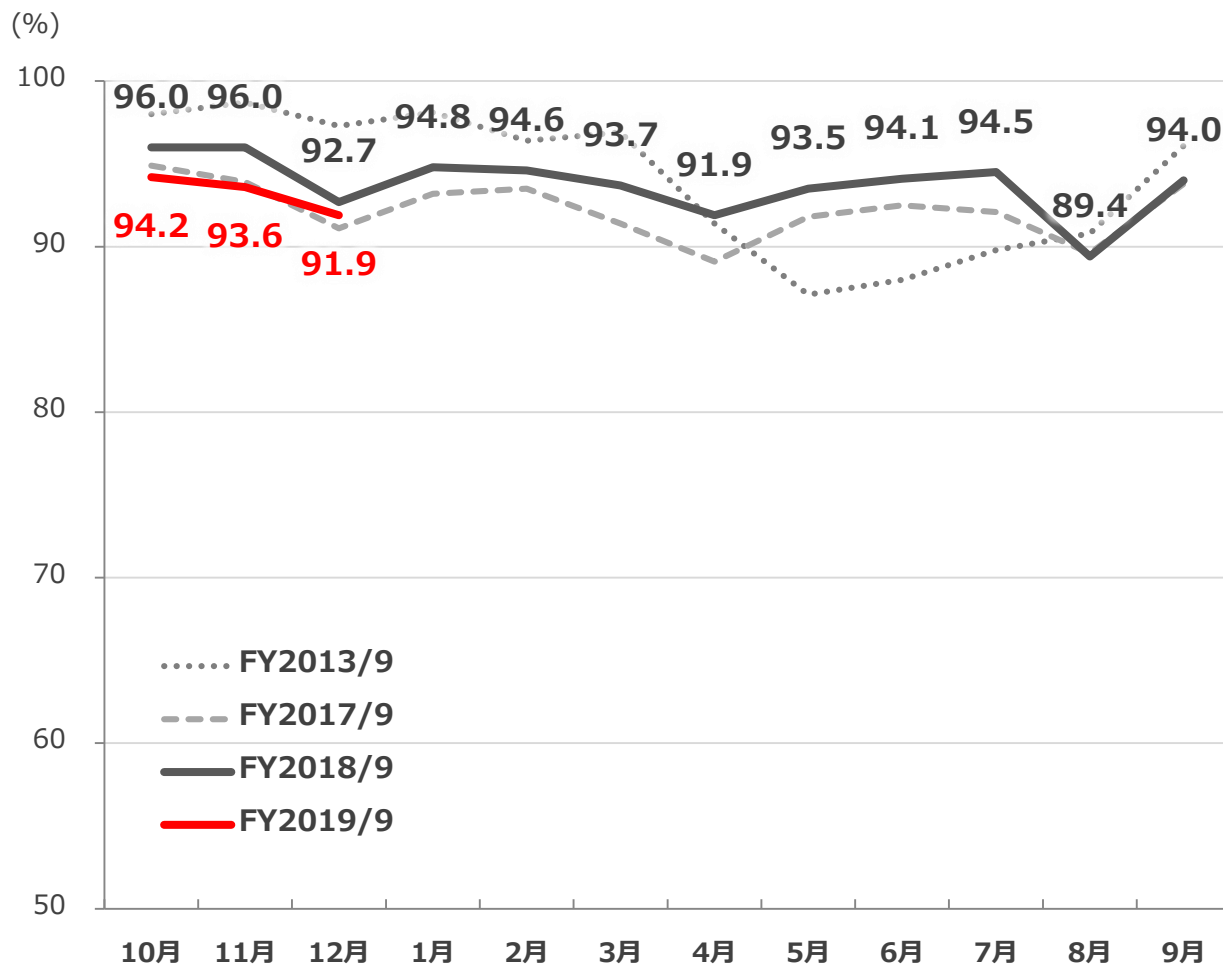
■ 順調に母数が増加しているため、新人比率は低下



稼働率の推移



■ 採用人数増加により稼働率は低下



平均稼働率 3ヶ月平均 (10~12月)

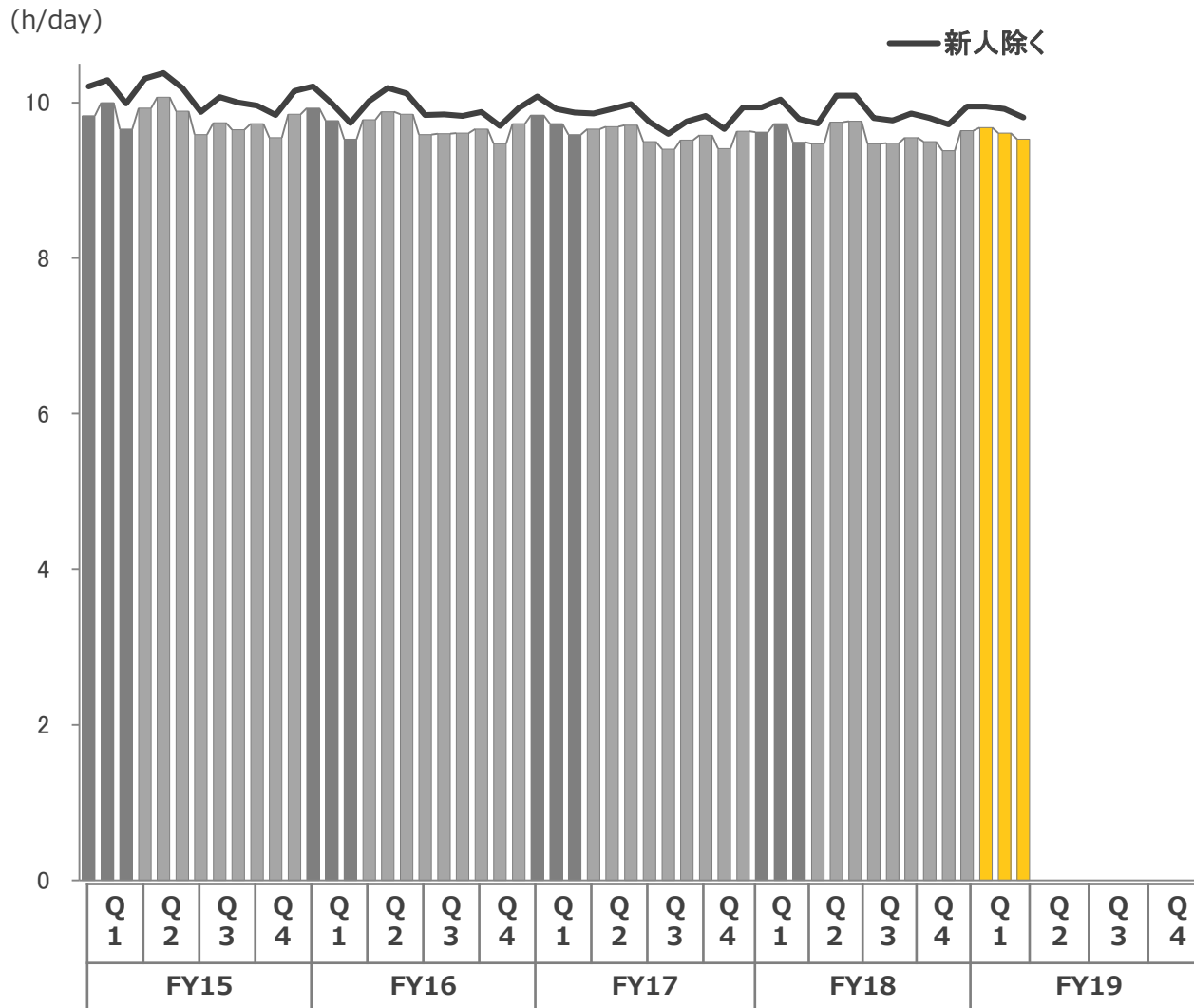
年次	平均稼働率	YoY
FY13/Q1	98.0%	YoY
FY17/Q1	93.3%	▲4.7pt.
FY18/Q1	94.9%	+1.6pt.
FY19/Q1	93.2%	▲1.7pt.

Q1	Q2	Q3	Q4
----	----	----	----

稼働時間の推移



■ 「働き方改革」などの労務管理意識の高まりにより稼働時間は減少傾向続く



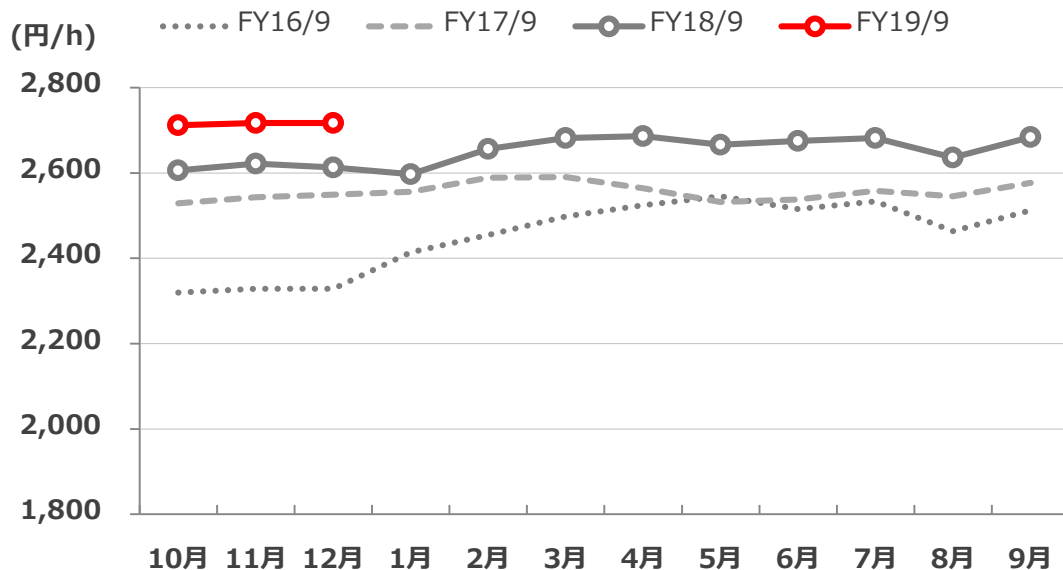
全技術者 平均稼働時間
3ヶ月平均 (10~12月)

Fiscal Year / Quarter	Average Working Hours (h)	YoY Change
FY15/Q1	9.83h	YoY
FY16/Q1	9.74h	▲0.9%
FY17/Q1	9.72h	▲0.2%
FY18/Q1	9.61h	▲1.1%
FY19/Q1	<u>9.61h</u>	<u>▲0.1%</u>

派遣単価 (1) 新人・2年目

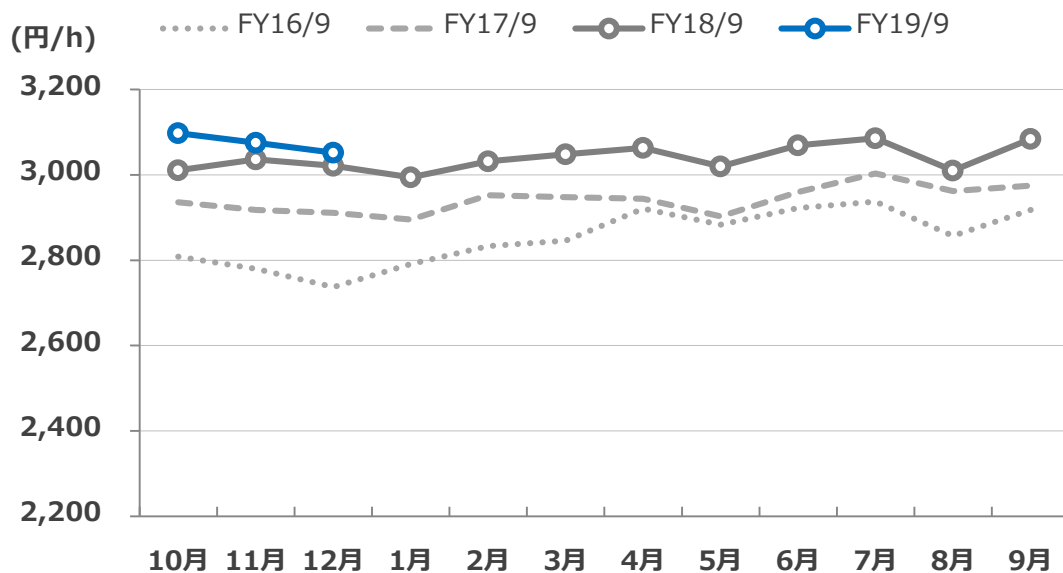


建設技術者派遣



新人のみ
3ヶ月平均 (10~12月)

年度	単価 (円)	YoY (%)
FY16/Q1	2,326円	
FY17/Q1	2,540円	+9.2%
FY18/Q1	2,614円	+2.9%
FY19/Q1	2,715円	+3.9%



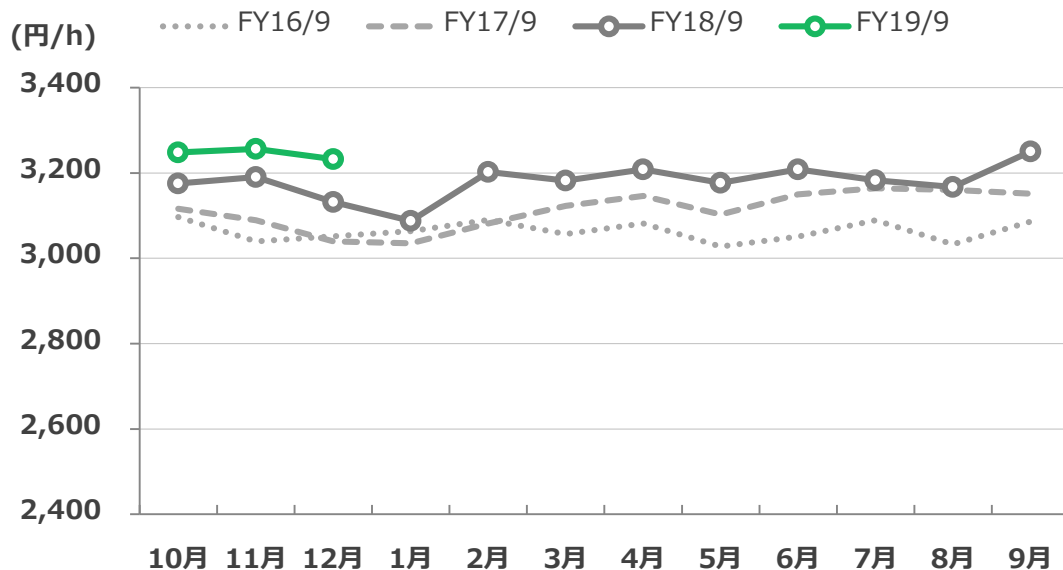
2年目のみ
3ヶ月平均 (10~12月)

年度	単価 (円)	YoY (%)
FY16/Q1	2,775円	
FY17/Q1	2,922円	+5.2%
FY18/Q1	3,023円	+3.4%
FY19/Q1	3,075円	+1.7%

派遣単価 (2) 3年目・4年目以降

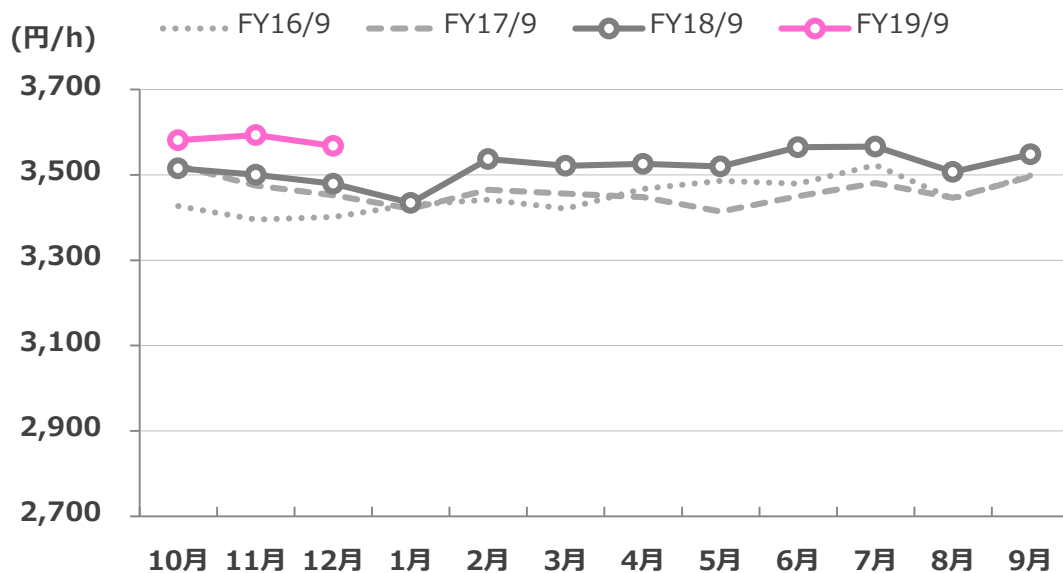


建設技術者派遣



3年目のみ
3ヶ月平均 (10~12月)

年度	単価 (円)	YoY
FY16/Q1	3,063円	YoY
FY17/Q1	3,082円	+0.6%
FY18/Q1	3,166円	+2.7%
FY19/Q1	3,245円	+2.5%



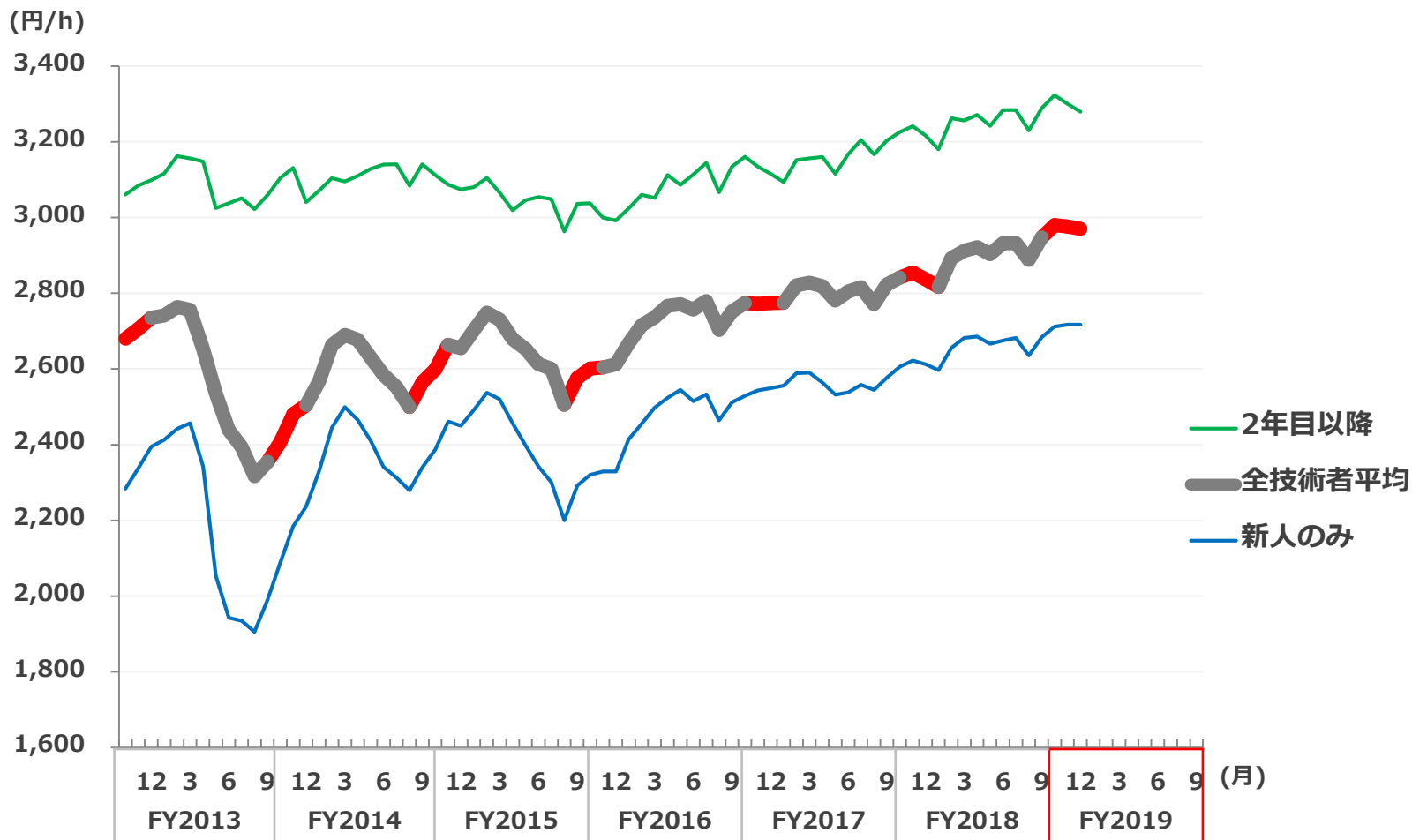
4年目以降
3ヶ月平均 (10~12月)

年度	単価 (円)	YoY
FY16/Q1	3,408円	YoY
FY17/Q1	3,483円	+2.2%
FY18/Q1	3,498円	+0.4%
FY19/Q1	3,581円	+2.4%

派遣単価 (3) 中期推移



- 旺盛な需要を背景にFY2015から5年連続上昇
- 人数比率の高い新人技術者の派遣単価上昇が利益率の向上に寄与



全社平均 (Q1)	2,707円	2,464円	2,639円	2,606円	2,773円	2,844円	2,975円
	YoY	▲9.0%	+7.1%	▲1.3%	+6.4%	+2.6%	+4.6%

KPI サマリー



建設技術者派遣

- 建設業界の人手不足を背景に、5年連続で派遣単価上昇
- 採用好調で稼働率・稼働時間は低下

全技術者 3ヶ月平均 (10~12月)

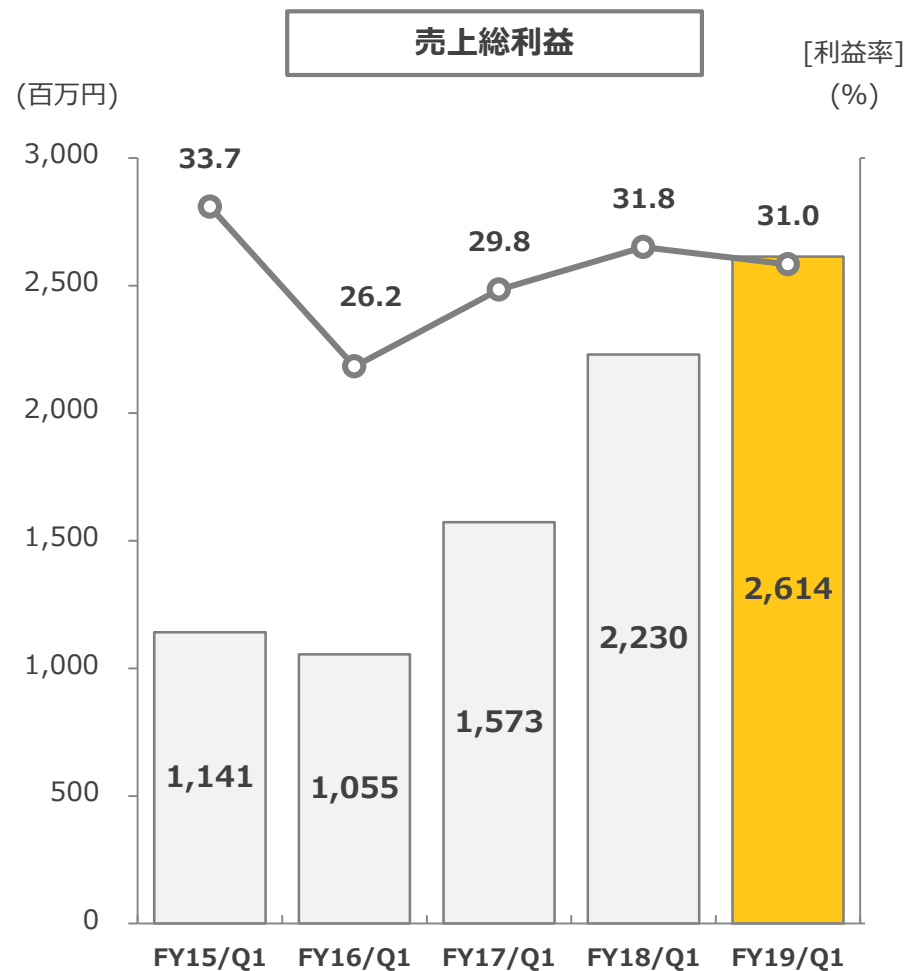
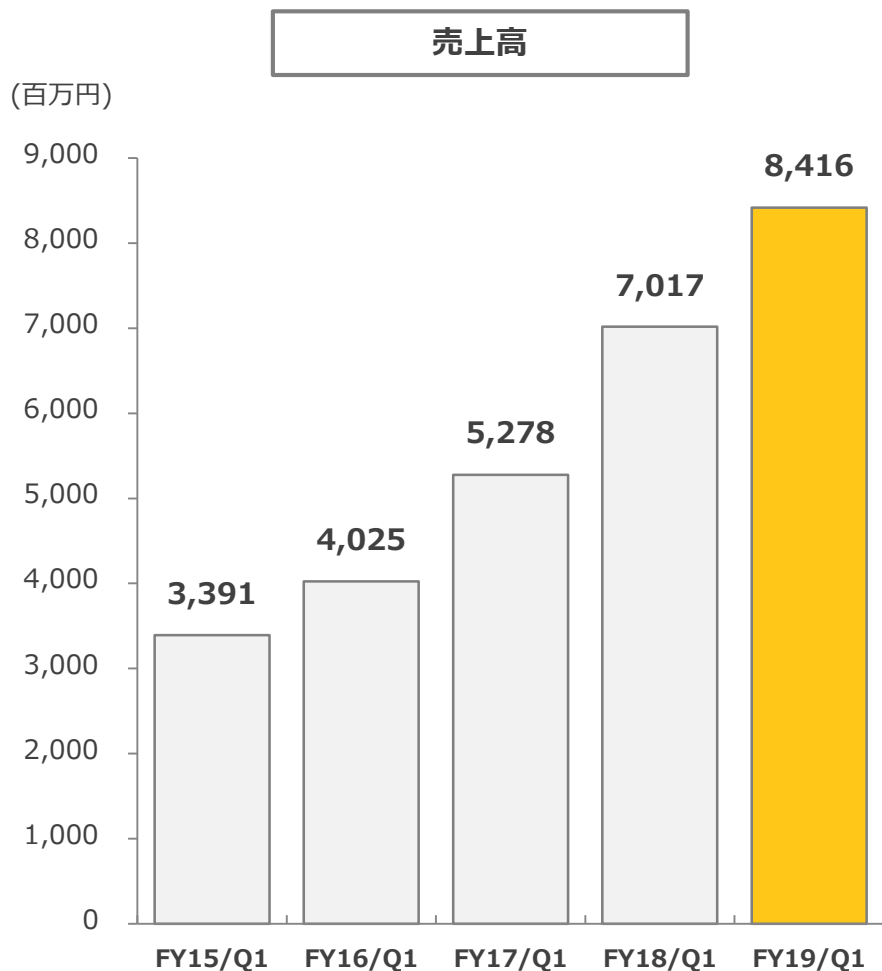
	FY18/Q1	FY19/Q1	増減	増減率
技術者数	4,575人	<u>5,363人</u>	<u>+788人</u>	<u>+17.2%</u>
稼働率	94.9%	93.2%	▲1.7pt.	—
稼働時間	9.61h	<u>9.61h</u>	<u>▲0.01h</u>	<u>▲0.1%</u>
派遣単価	2,844yen	<u>2,975yen</u>	<u>+131yen</u>	<u>+4.6%</u>

P/L (1) 売上高・売上総利益



建設技術者派遣

- 売上高 ⇒ 積極採用+高定着率 → 34四半期連続で前年比増収 +19%
- 売上総利益 ⇒ 技術者への還元増も派遣単価上昇で利益率30%以上維持 +17%

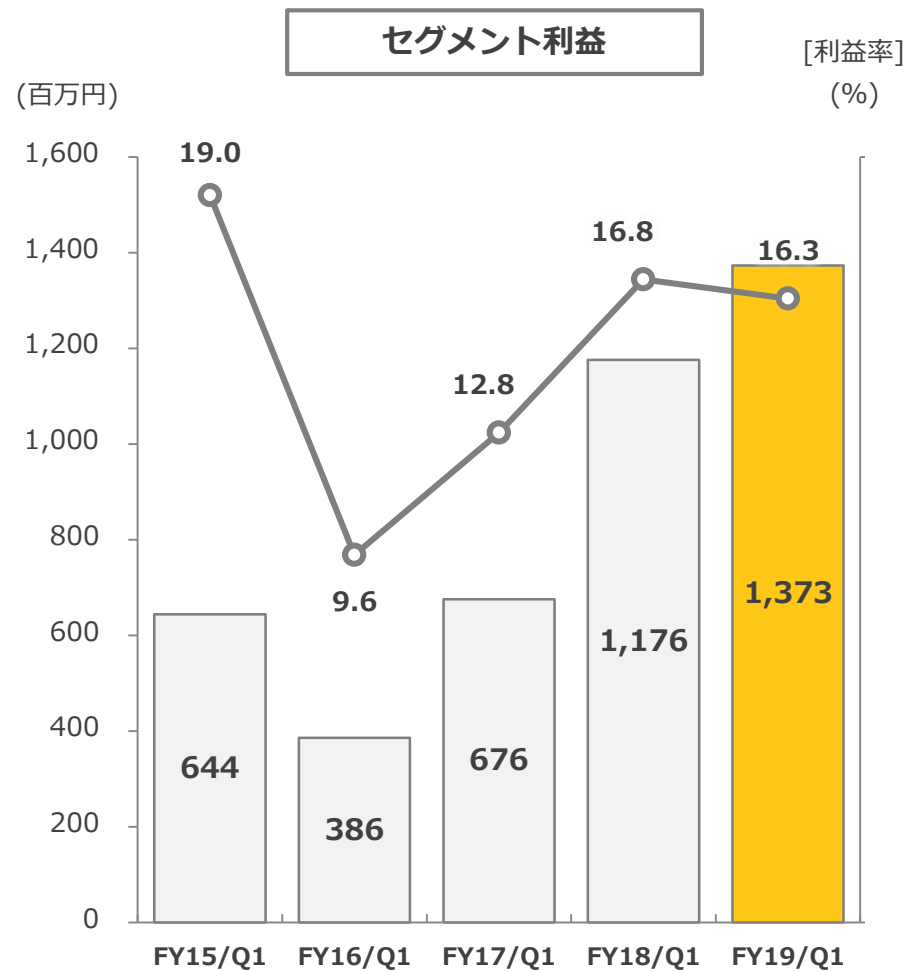
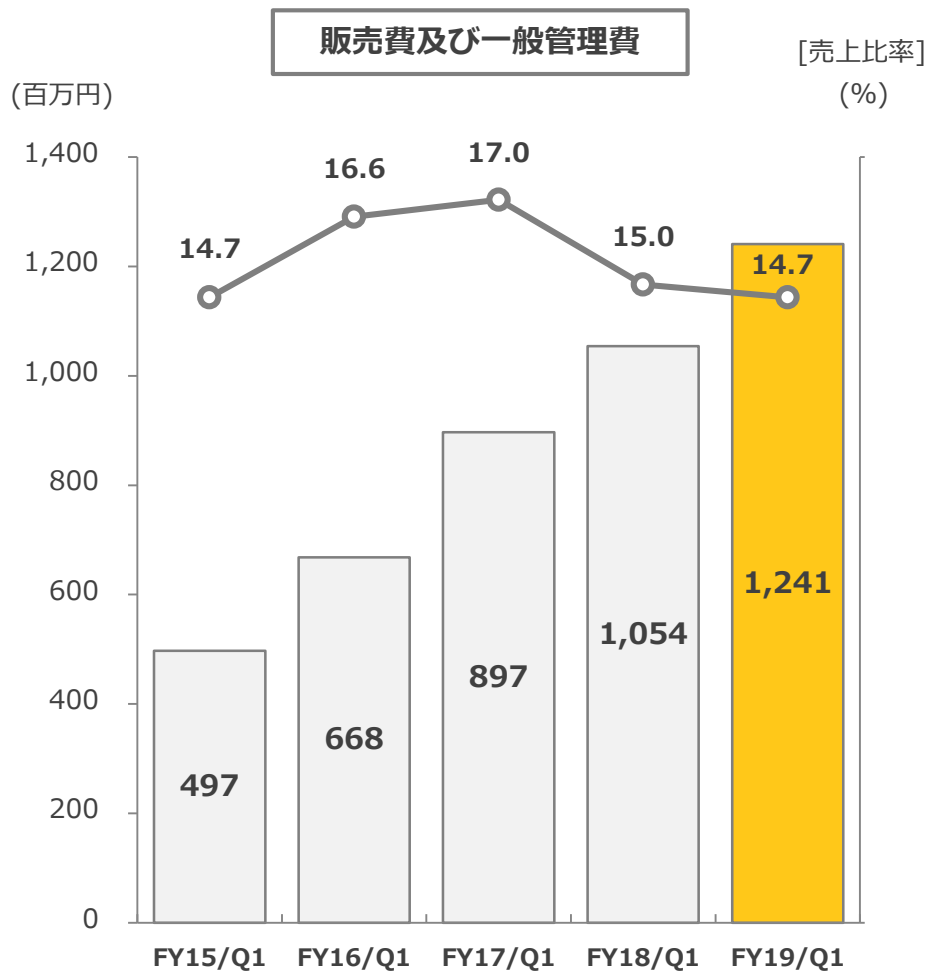


P/L (2) 販管費・営業利益



建設技術者派遣

- 販売費及び一般管理費 ⇒ 採用費増加するも計画通り Q2以降減少へ +17%
- セグメント利益 ⇒ 売上総利益の増加で販管費増加こなし増益 +16%



P/L サマリー



建設技術者派遣

(百万円)

	FY18/Q1	FY19/Q1	増減額	増減率
売上高	7,017	8,416	+1,399	19.9%
売上総利益	2,230 (31.8%)	2,614 (31.0%)	+384	17.2%
販売費及び一般管理費	1,054 (15.0%)	1,241 (14.7%)	+187	17.7%
セグメント利益	1,176 (16.8%)	1,373 (16.3%)	+197	16.7%

※ () = 売上高比率

エンジニア派遣事業

採用実績



エンジニア派遣

- 年間採用計画1,800人に対し20.1%の進捗率、下半期にかけ伸長予定
- 採用実績の内 女性：182人（50%）、外国籍：26人（7%）

(単位：人)

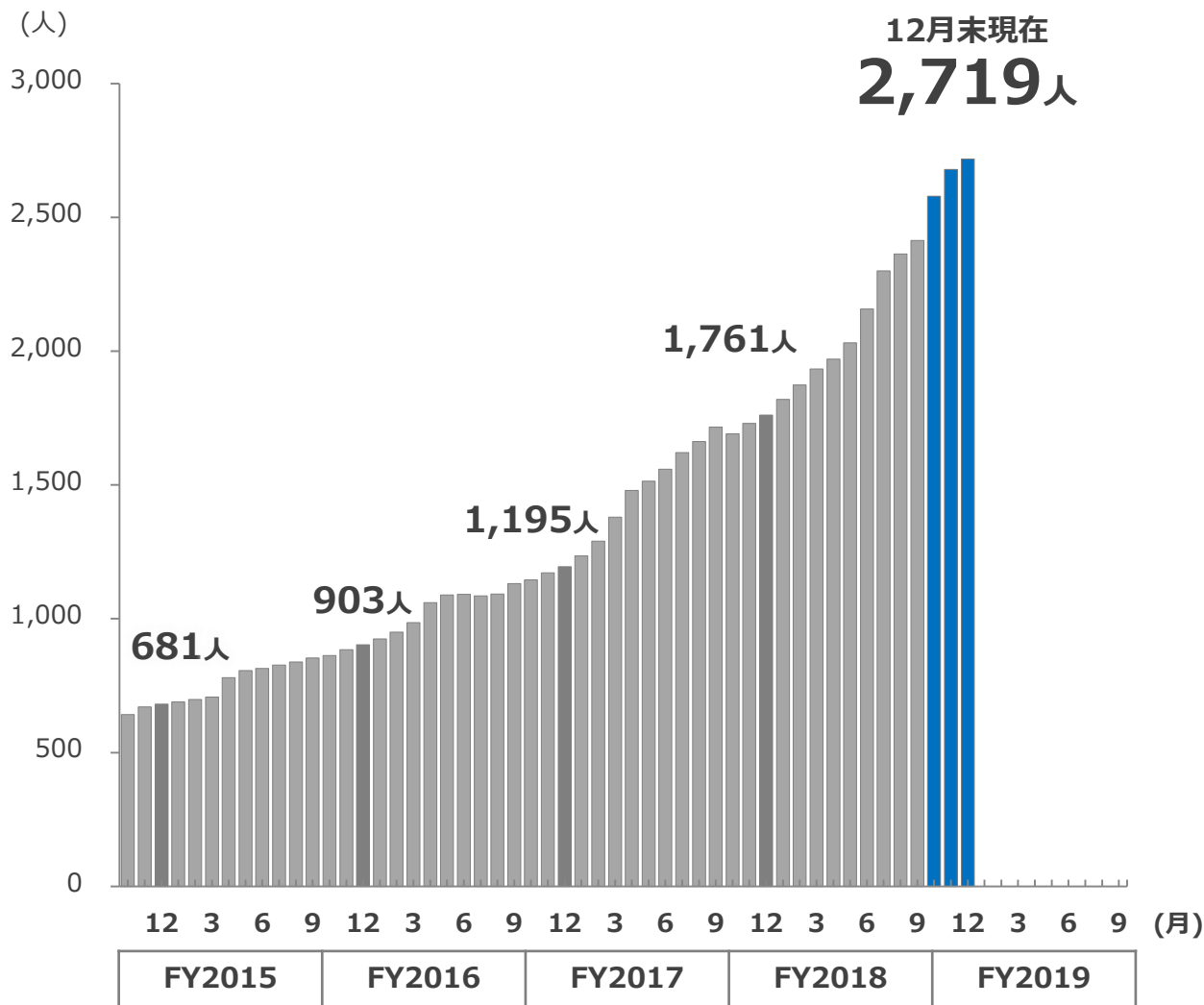
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10~3月 累計
FY18 採用実績		159			270		429
FY19 採用実績		362					
前年比		+203					

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4~9月 累計	10~9月 累計
FY18 採用実績		303			386		689	1,118
FY19 採用実績								
前年比								

在籍エンジニア数の推移



- 期末エンジニア数目標 3,400人に対し、進捗率 80%
- 前年同月末比 958人増加 (+54.4%)



平均技術者数

3ヶ月平均 (10~12月)

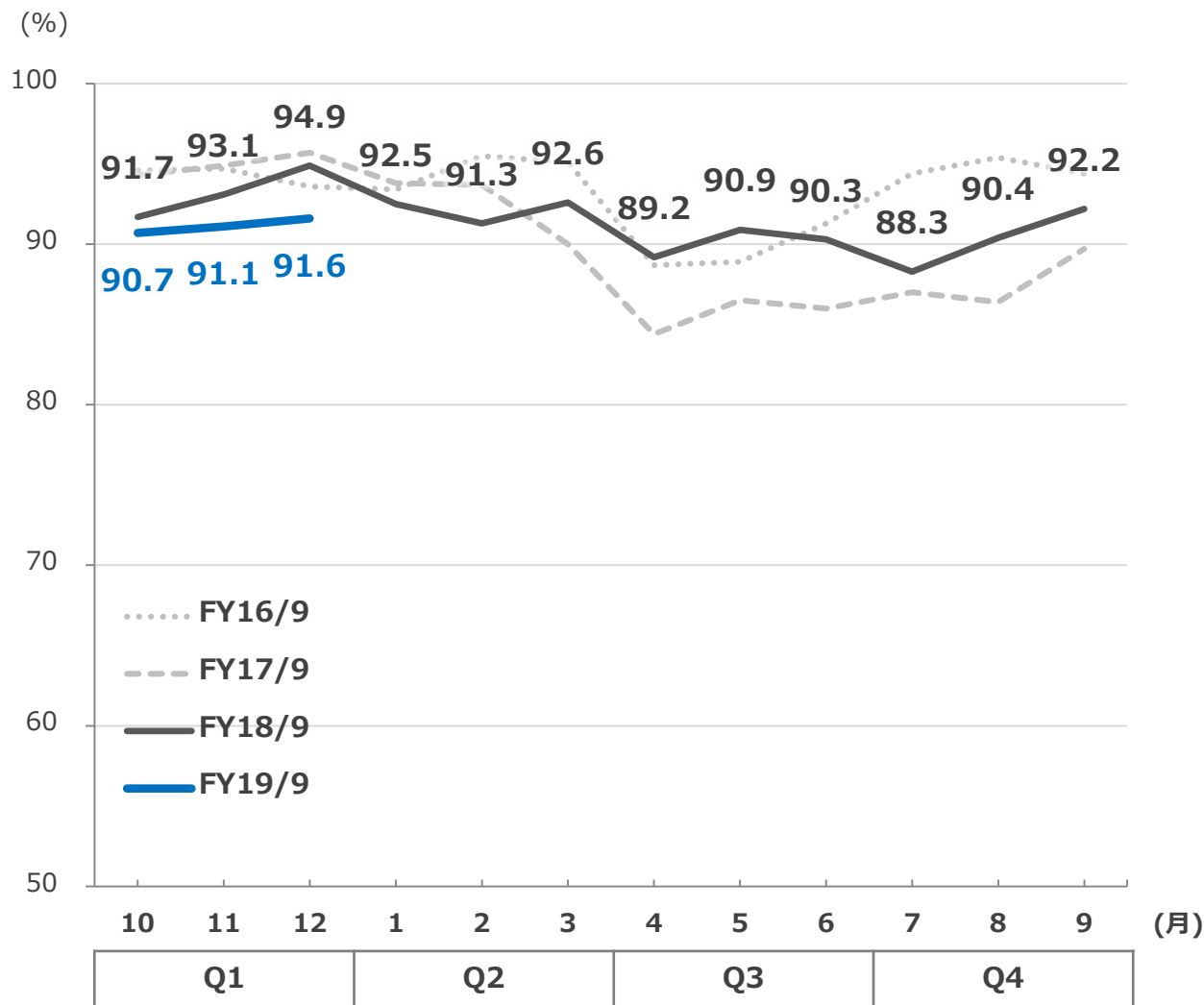
FY	平均技術者数	YoY
FY15/Q1	665人	
FY16/Q1	883人	+32.7%
FY17/Q1	1,171人	+32.6%
FY18/Q1	1,727人	+49.8%
FY19/Q1	2,659人	+53.9%

※ 各月末技術者数

稼働率の推移



■ 積極投資による採用人数増加により稼働率は低下



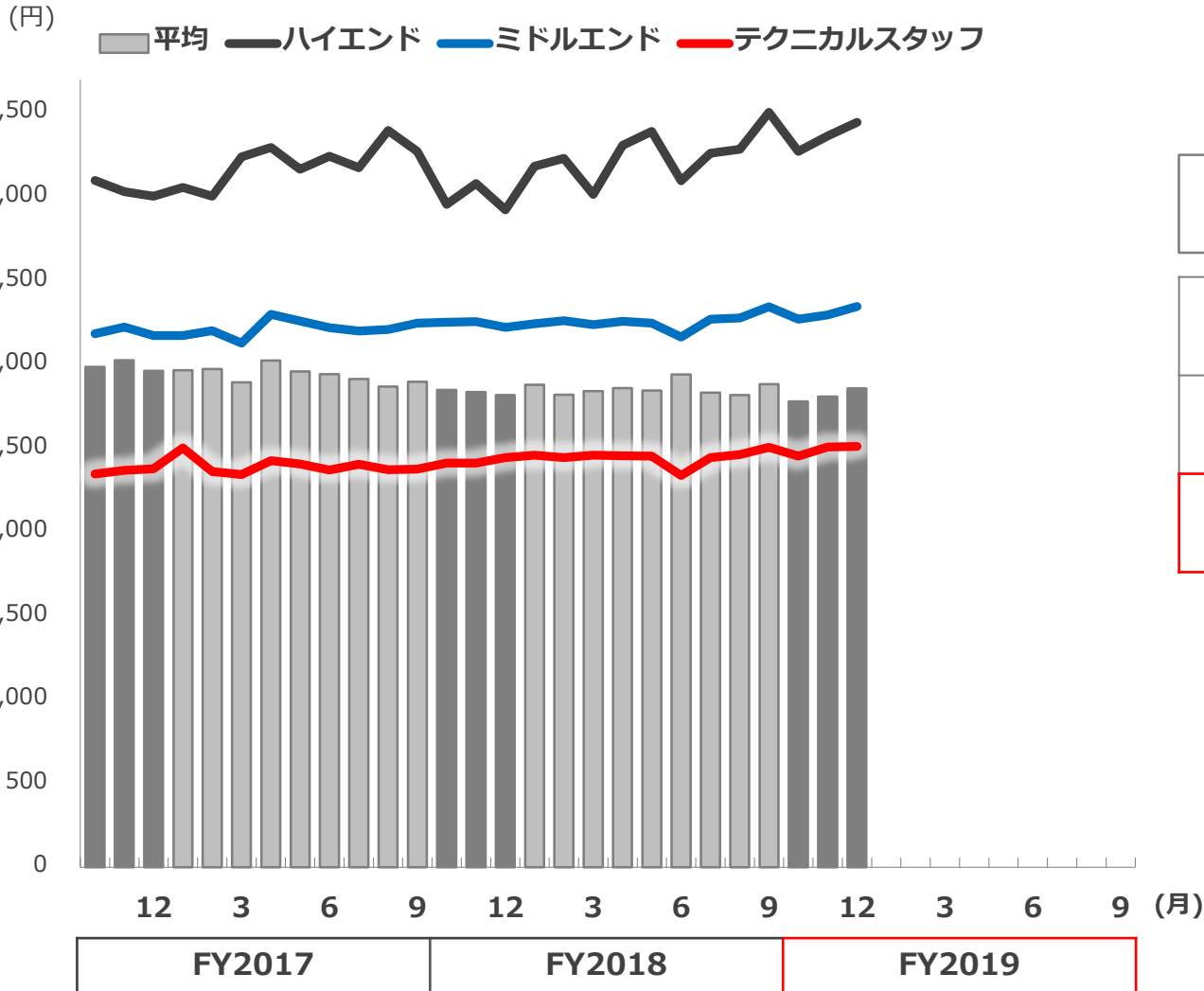
平均稼働率 3ヶ月平均 (10~12月)

FY16/Q1	94.3%	YoY
FY17/Q1	95.0%	▲0.7pt.
FY18/Q1	93.2%	▲1.8pt.
FY19/Q1	91.1%	▲2.1pt.

派遣単価の推移



- 好調な採用により新人エンジニアが増加したため平均派遣単価は低下
- 同じレイヤー比較では全てで単価上昇、特にハイエンドエンジニアは+9.4%と大幅上昇



平均派遣単価 3ヶ月平均 (10~12月)		
FY17/Q1	2,992円	YoY
FY18/Q1	2,835円	▲5.2%
FY19/Q1	2,816円	▲0.7%

KPI サマリー



エンジニア派遣

- 積極採用によりエンジニア数が52%増と好調に推移
- 稼働率・派遣単価については新人エンジニアの入社増加にともない低下

全技術者 3ヶ月平均 (10~12月)

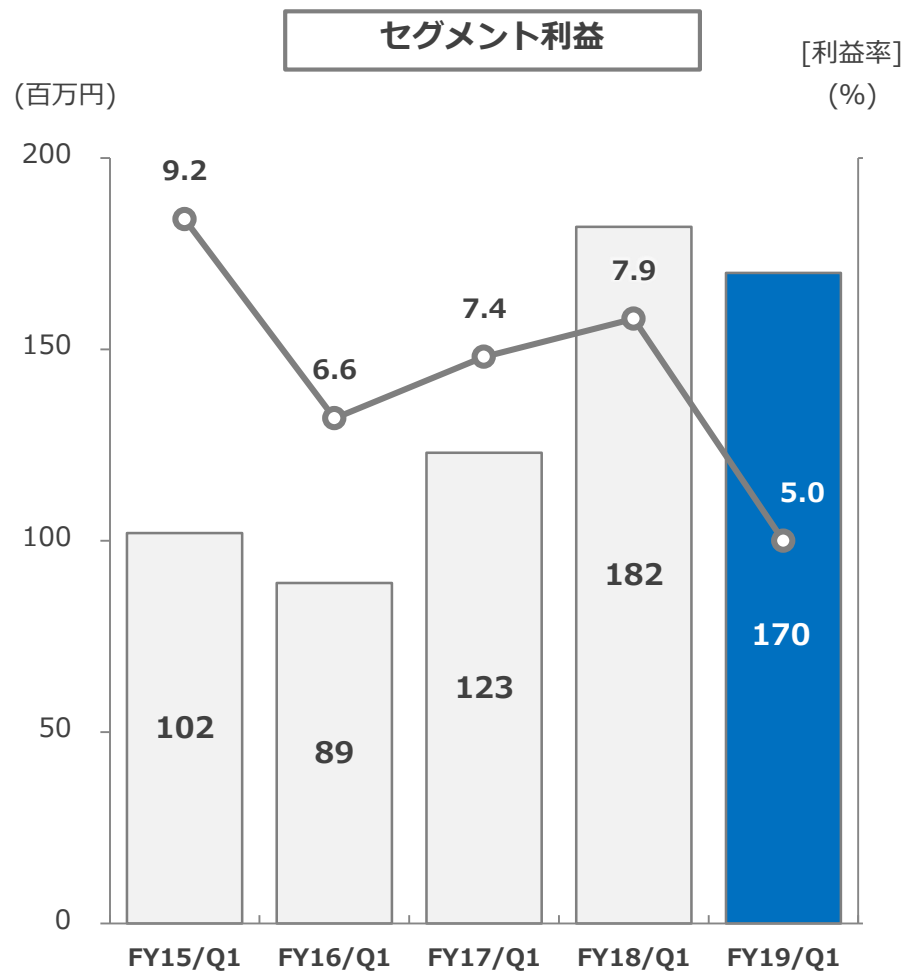
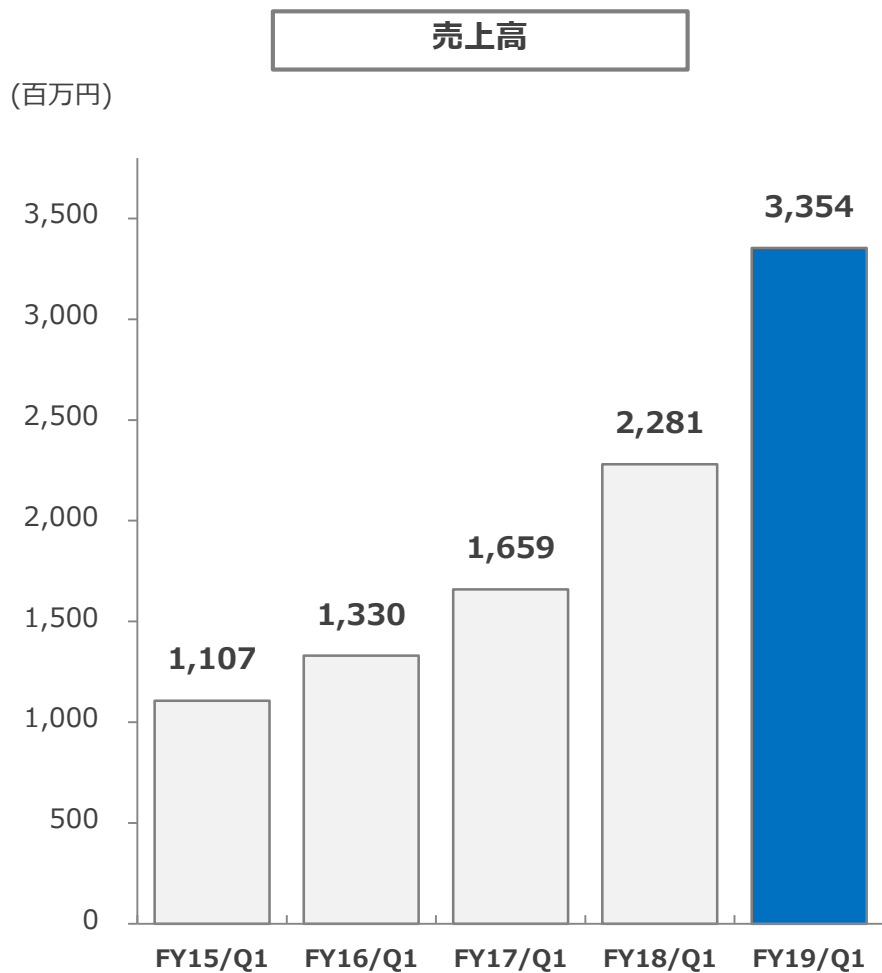
	FY18/Q1	FY19/Q1	増減	増減率
技術者数	1,755人	2,659人	+904人	+51.5%
稼働率	93.2%	91.1%	▲2.1pt.	—
派遣単価	2,835yen	2,816yen	▲19yen	▲0.7%

P/L サマリー

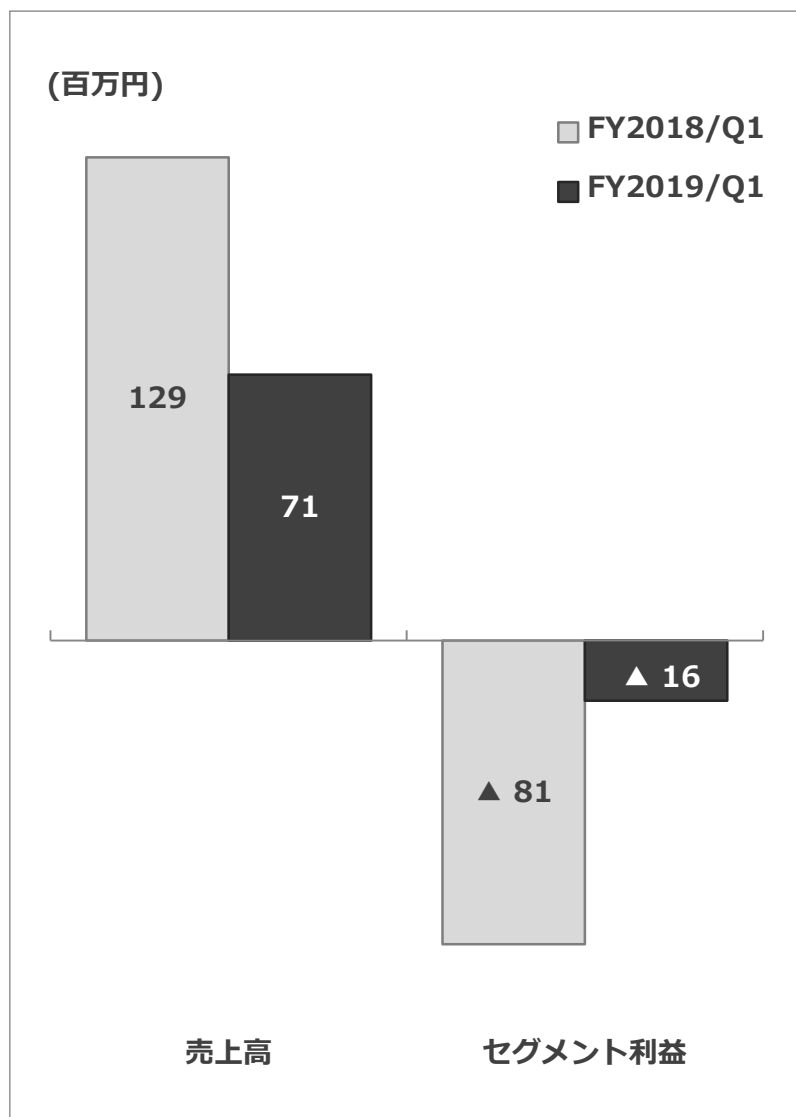


エンジニア派遣

- 売上高 ⇒ 積極採用により稼働人数増加 47%増収
- 営業利益 ⇒ 稼働人数増加により採用費の増加こなし利益計上



その他事業



- 教育・IT関連事業は
吸収合併に向けて縮小する方針
- 今期以降
外国人材活用ビジネスを拡大

連結 P/L サマリー



グループ

(百万円)

	FY2018/Q1	FY2019/Q1	増減額	増減率
売上高	9,411	11,824	+2,413	25.6%
売上総利益	2,879 (30.5%)	3,517 (29.7%)	+638	22.1%
販売費及び一般管理費	1,647 (17.5%)	2,277 (19.2%)	+630	38.2%
営業利益	1,232 (13.0%)	1,240 (10.4%)	+8	0.6%
経常利益	2,423 (7.9%)	1,260 (10.6%)	▲1,163	▲47.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	957 (10.1%)	852 (7.2%)	▲105	▲10.9%

※ () = 売上高比率

2019年9月期 連結業績予想



グループ

(百万円)

	FY2018 実績	FY2019 予想	増減率
売上高	40,419	50,000	23.7%
営業利益	5,186	6,000	15.7%
経常利益	4,940	6,000	21.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,635	4,100	12.8%
1株当たり純利益	48.75円	54.98円	12.8%

2019年9月期 セグメント別業績予想

(百万円)

1. 建設技術者派遣事業	FY2019/Q1 実績	FY2019 予想	進捗率
売上高	8,416	36,000	23.3%
セグメント利益	1,373	6,000	22.8%
採用人数	774	2,800	27.6%
期末在籍人数	5,428	5,900	92.0%

2. エンジニア派遣事業	FY2019/Q1 実績	FY2019 予想	進捗率
売上高	3,354	13,000	25.8%
セグメント利益	170	0	—
採用人数	362	1,800	20.1%
期末在籍人数	2,719	3,400	79.9%

セグメント別 経営戦略

1. 建設技術者派遣事業

2,800人採用 + 派遣単価UP

2. エンジニア派遣事業

1,800人採用 + 派遣単価UP

経営戦略の詳細

1. 建設技術者派遣事業

- ・ 旺盛な需要に応えるべく積極投資で2,800人以上を採用
- ・ 継続的なフォロー施策と給与UPで定着率70%以上維持
- ・ 地方営業所のさらなる活性化 ⇒ 販路拡大
- ・ 継続的な生涯研修で高付加価値へ

2. エンジニア派遣事業

- ・ エンジニア増員を最優先計画、純増1,000名超目標
- ・ 積極投資で1,800人以上を採用
- ・ 採用規模に見合った、研修センターの拡張
- ・ 営業増員による営業力の強化

3. その他事業

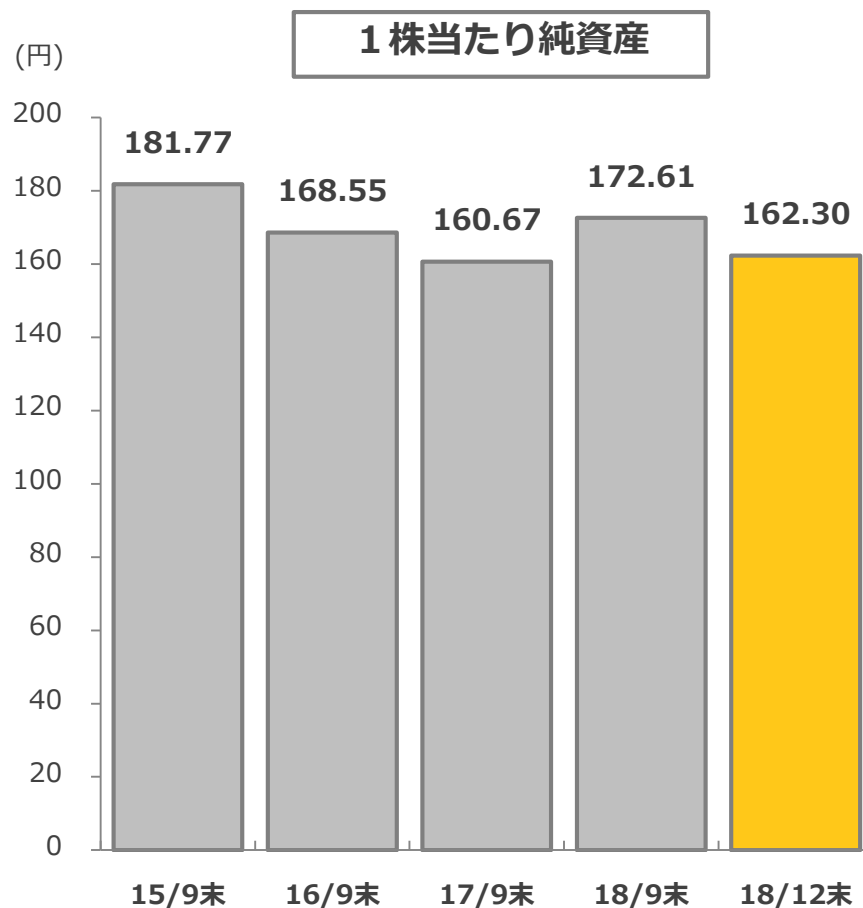
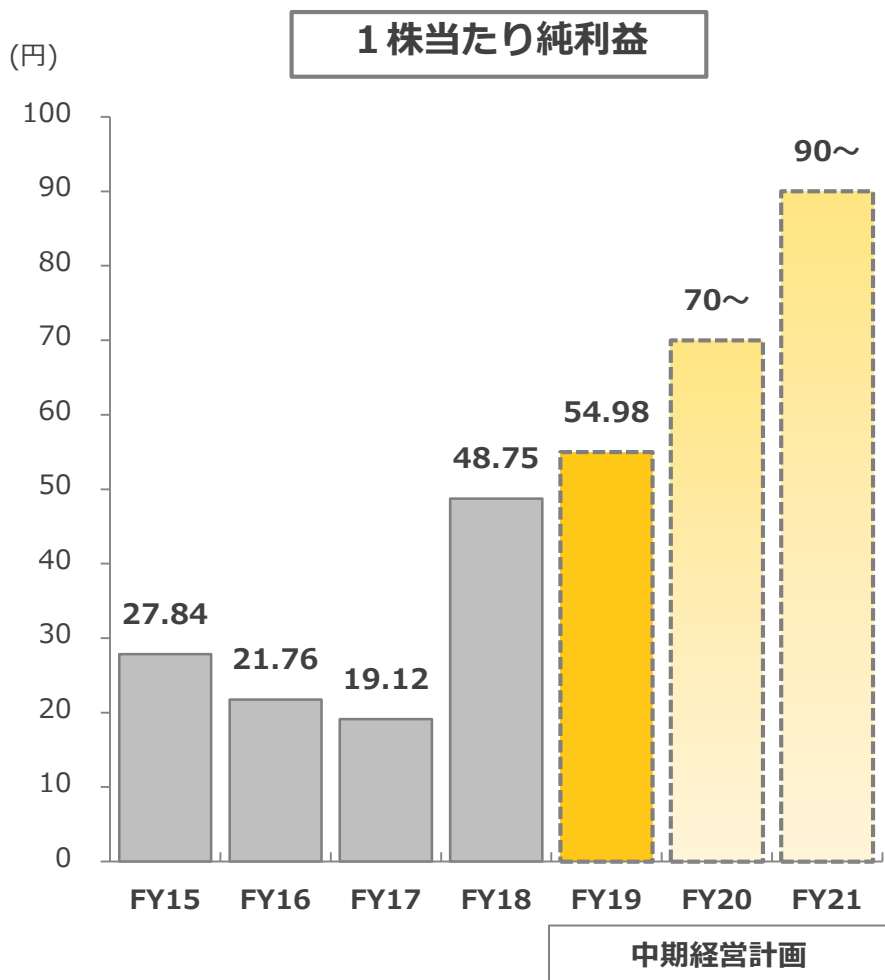
- ・ 需要の強い人材紹介は建設特化で黒字化へ
- ・ 外国人活用ビジネスをスタート

株主還元

株主還元

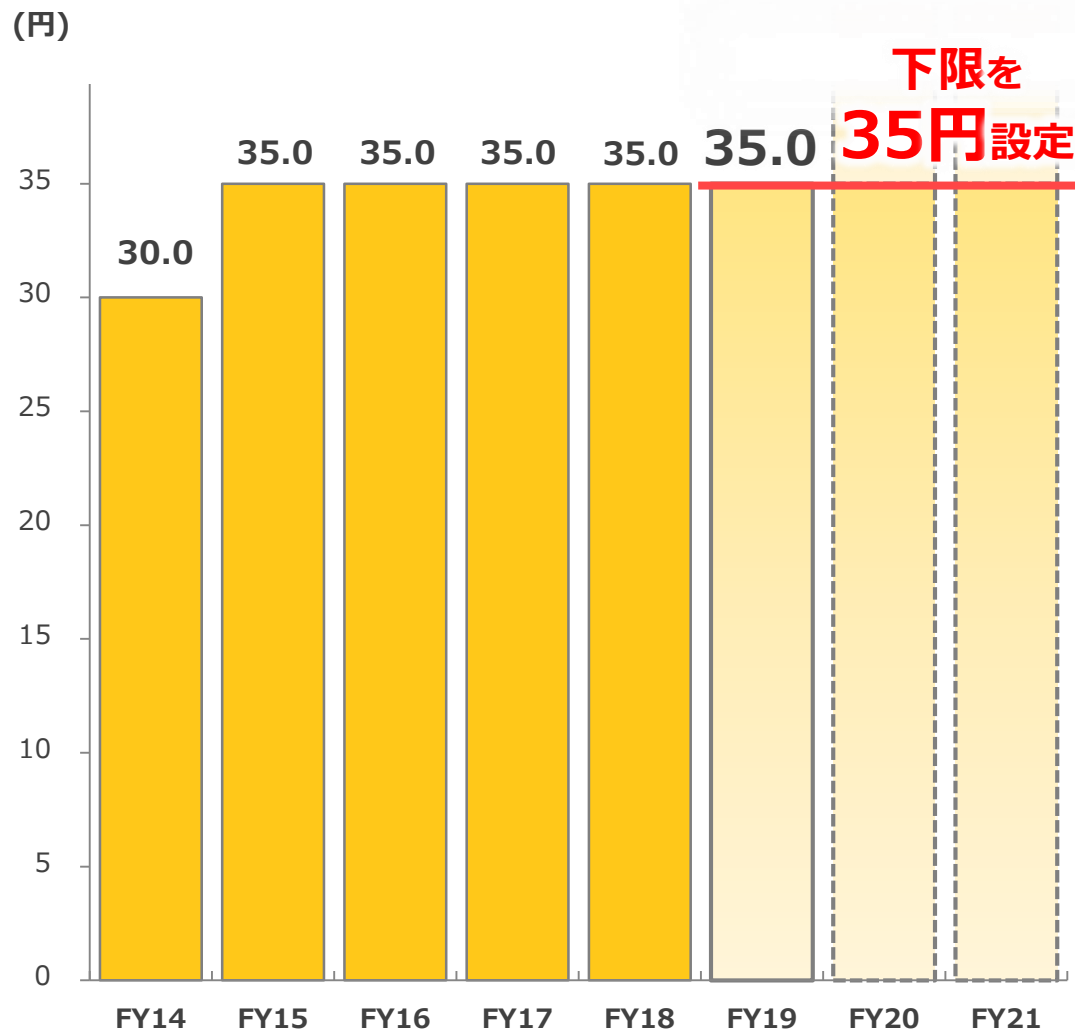
株主還元（1） 1株当たり純利益・純資産

■ 1株当たり純利益 ⇒ FY20以降エンジニア派遣が伸張で大幅増益予定



- ※ 1. 1株当たり純利益 = 当期純利益 ÷ 期中平均株式数 × 100
2. 1株当たり純資産 = 自己資本 ÷ (発行済株式総数 - 期末自己株式数) × 100

株主還元（2） 1株当たり配当金



中期経営計画

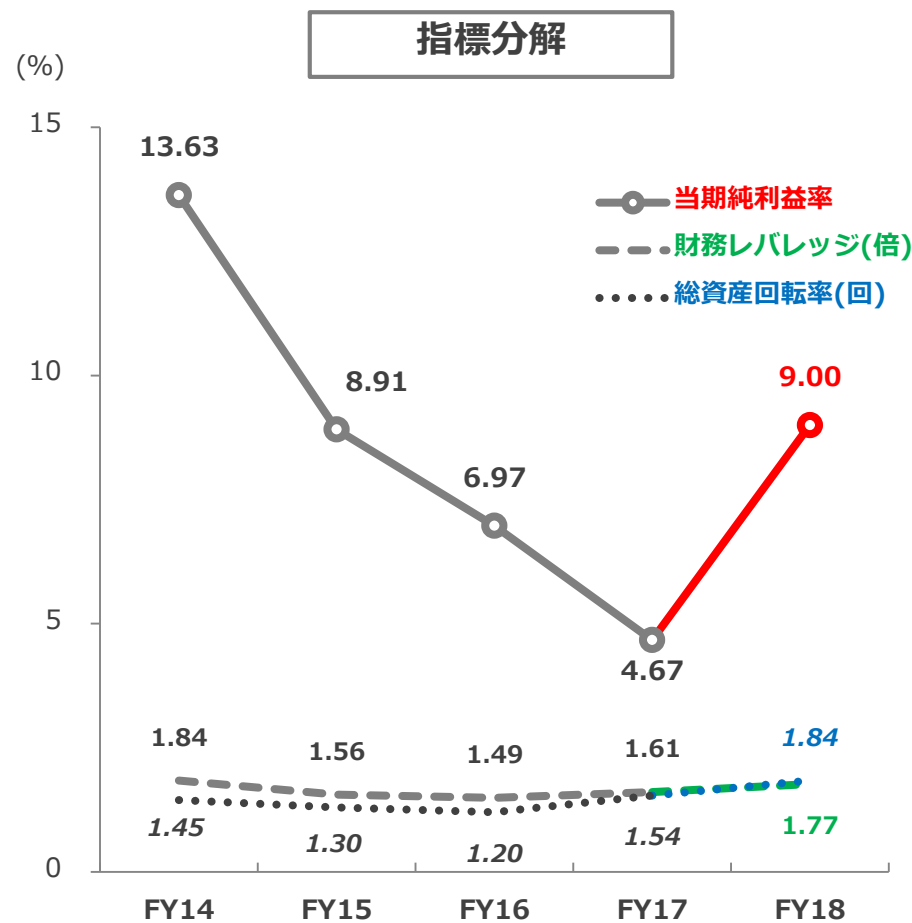
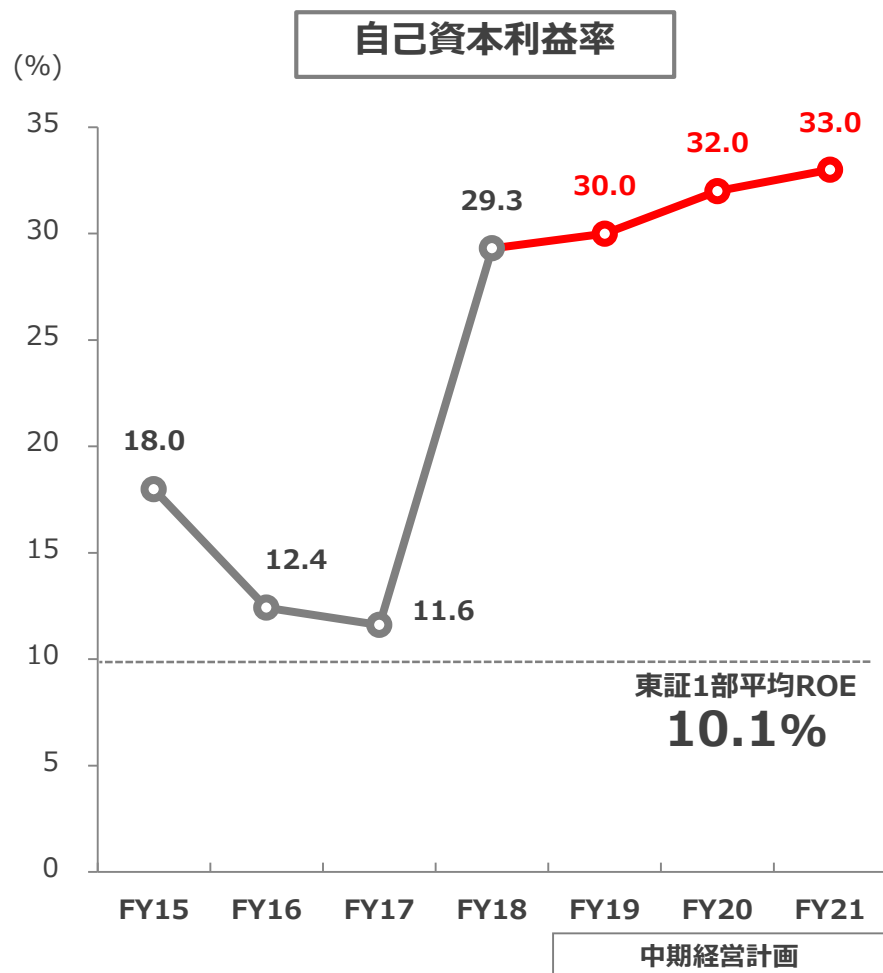
安定配当で 積極投資

EPSの増益分を機動的に活用

1. M&Aなどの再投資
2. 自己株式取得
3. 増配

株主還元（3）自己資本利益率（ROE）

■ 利益率の改善と高配当+再投資による資産回転率の向上で30%水準を維持



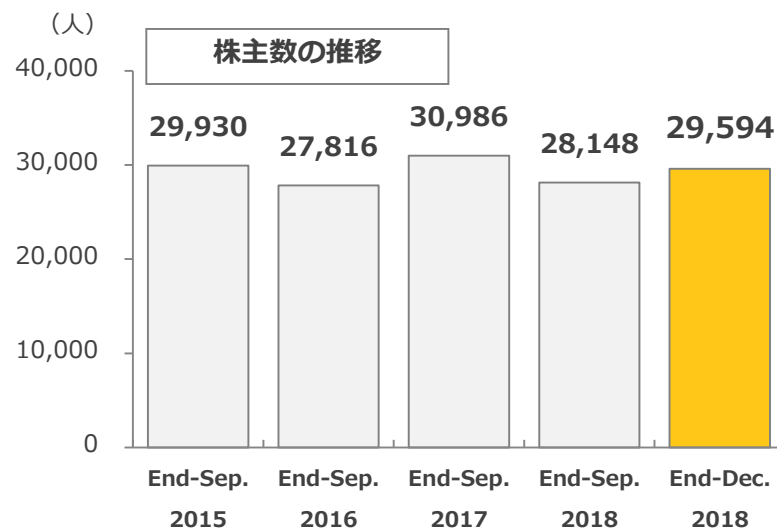
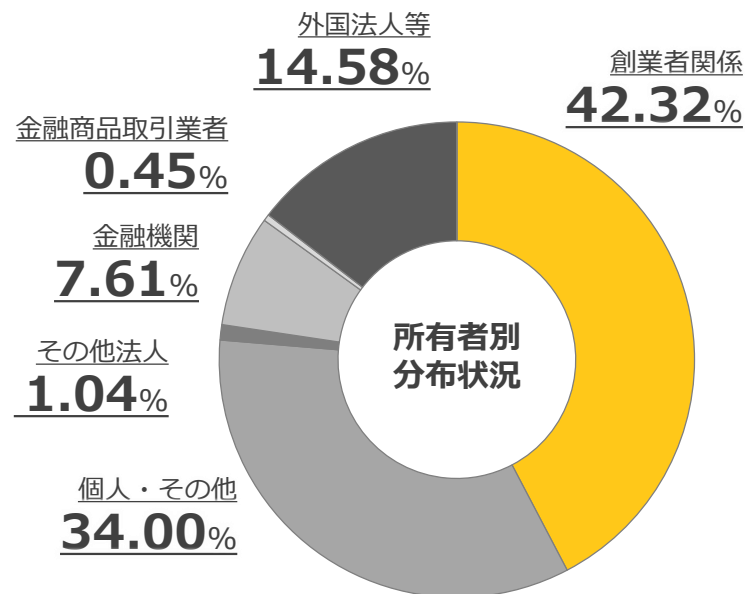
- ※ 1. 自己資本利益率 = 当期純利益 ÷ 自己資本(期中平均) × 100
 2. 財務レバレッジ = 総資産(期中平均) ÷ 自己資本(期中平均)
 3. 総資産回転率 = 売上高 ÷ 総資産(期中平均)

4. 中期経営計画におけるROEは毎期35.0円配当にて算出

[ご参考] 株式の状況

2018年12月31日現在

	株主名	所有株式数 (千株)	所有割合 (%)
1	佐藤 真吾	18,425	24.70
2	佐藤総合企画	12,444	16.69
3	Japan Trustee Services Bank	3,324	4.45
4	The Master Trust Bank of Japan	3,150	4.22
5	Goldman Sachs International	964	1.29
6	深井 英樹	880	1.18
7	資産管理サービス信託銀行	691	0.92
8	佐藤 淑子	688	0.92
9	MSIP Client Securities	569	0.76
10	JPMC Goldman Sachs Trust	550	0.73
大株主上位10名合計		41,688	55.89



※ 発行済株式総数=74,573,440株
自己株式数=86株

免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予想値であり、実際とは異なる場合もございます。

本資料は将来の結果をお約束するものではありませんし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



JASDAQ

[お問い合わせ]

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング 22F

株式会社 夢真ホールディングス IR室

TEL: 03-3210-1212 FAX: 03-3210-1209

E-mail: ir@yumeshin.co.jp